

(令和2年度)

# 第五次小千谷市総合計画 前期基本計画 進行管理シート



# 目 次

基本目標		基本方針		施 策		シートNo.		
1	人を育み文化の香るまちづくり (教育、文化、スポーツ)	1	学校教育の充実	1	幼児教育の充実	1		
				2	小・中学校教育の充実	2		
				3	特別支援教育の充実	3		
				4	教育環境の整備	4		
				5	育英事業の推進	5		
		2	生涯学習の推進	1	生涯学習事業の推進	6		
				2	青少年の健全育成	7		
		3	文化の振興	1	文化・芸術の振興	8		
				2	文化財等の保存と活用	9		
		4	スポーツの振興	1	地域スポーツの振興	10		
				2	体育施設の整備	11		
		2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり (福祉、健康、医療)	1	子育て環境の充実	1	子どもを産み育てやすい環境の整備	12
2	子育て支援の充実					13		
2	健康づくりの推進			1	健やかな体づくりの推進	14		
				2	健康長寿社会の推進	15		
				3	心の健康づくりの推進	16		
3	医療体制の充実			1	地域医療体制の充実	17		
				2	医療基盤の充実	18		
4	支えあう福祉社会づくり			1	障がい者福祉の充実	19		
				2	生活困窮者への支援	20		
				3	高齢者福祉の充実	21		
3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり (産業)			1	商工業の振興	1	商業の振興	22
						2	中心商店街の振興	23
		3	基幹産業と伝統産業の強化			24		
		4	企業立地の推進			25		
		2	農林業の振興	1	農業経営の強化	26		
				2	農業生産基盤の整備	27		
				3	農村の振興	28		
				4	森林の維持	29		
		3	地域特性を活かした産業の育成	1	獨創性・創造性豊かな産業の育成	30		
				2	錦鯉産業の振興	31		
		4	就業機会の確保	1	就業機会の拡充と人材育成	32		
				2	労働環境の整備	33		
		4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり (都市基盤)	1	都市空間の創出	1	中心市街地の活性化	34
						2	公共交通の充実	35
						3	居住環境の向上	36
				2	快適な生活基盤の整備	1	道路網の形成	37
2	自然と調和した河川の整備					38		
3	都市ガスの安定供給					39		
4	上水道の安定供給					40		
5	下水道施設の維持管理の推進					41		
3	土地利用の推進			1	都市計画の推進	42		
				2	国土調査の推進	43		
5	自然を活かした調和と安心のまちづくり (防災、環境、克雪)			1	安全な市民生活の確保	1	防災体制の強化	44
						2	消防・救急体制の充実	45
						3	交通安全と防犯の推進	46
		2	自然と共生する循環型社会の推進	1	自然環境との共生	47		
				2	資源リサイクルの推進	48		
		3	暮らしやすい雪国生活の推進	1	冬期間交通の確保	49		
				2	雪国生活の充実	50		
				3	雪資源の活用	51		
		6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり (交流、市民参加)	1	交流・移住・定住の推進	1	移住・定住人口の拡大	52
2	都市間・地域間交流の推進					53		
3	国際交流の促進					54		
2	市民協働と地域づくり			1	市民協働のまちづくりの推進	55		
				2	地域力を活かした市民活動の推進	56		
3	観光資源の活用と誘客推進			1	観光資源の整備と活用	57		
				2	祭りやイベントの充実と誘客推進	58		
7	計画推進のために			1	健全な行財政運営	59		
		2	効果的な広域連携	60				
		3	人口減少対策	61				
		4	男女共同参画と人権の尊重	62				

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	1
総合計画ページ	P. 32		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	1	幼児教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家庭、地域における幼児教育の充実</li> <li>■ 子ども読書活動の推進</li> <li>■ 教育相談の充実</li> <li>■ 認定子ども園に対する支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>家庭教育地域交流振興事業【健康未来子ども課】</b> 保育園、認定子ども園、小・中学校などと連携した家庭教育講座の開催	認定子ども園:2件、保育園:3件 *新型コロナウイルス感染症の拡大防止による開催回数の減	保育園、認定子ども園、学校、地域団体等と連携し、育児講座や親子運動教室等の家庭教育講座を開催し、親子のふれあいや異年齢の交流などにより、児童の成長を支えた。
<b>子ども読書活動推進事業【生涯学習課】</b> 家庭での読み聞かせの啓発、保育園や子育て支援センターなどと連携した図書館サービスの実施	・希望する保育園、幼稚園、読み聞かせボランティア等へ団体貸出を実施(延べ526件) ・ブックスタート事業は、コロナウイルス感染症予防のため読み聞かせは実施せず、絵本等のプレゼントのみを実施(196人)	H30年度からブックスタート事業を実施(3年間で延べ606人)し、参加した方の98%から満足したとの回答を得た。また、1歳6か月児健診時のアンケートでは、93%が読み聞かせを実施しているという成果があった。(R1年度調査)
<b>教育相談事業【学校教育課】</b> 就学前児童の教育相談、就学相談	各園への巡回訪問による就学相談などの助言や、各園へ発達支援コーディネーターを配置し、研修会を実施することで早期段階から就学相談を進めることができた。 各園の発達コーディネーターと小学校の先生との情報交換を早期に実施することで、円滑に就学相談が実施できた。	H29年度から実施している巡回訪問や、各園における特別支援教育の窓口となる発達支援コーディネーターの配置により、就学前児童に対する早期からの就学相談の実施が定着しつつある。また、研修会の実施や、園と小学校の先生との情報交換の場を設けることで就学前児童に対する相談をスムーズに進められるようになった。
<b>認定子ども園振興事業【健康未来子ども課】</b> 振興補助、特別支援教育補助	・振興補助金:3園 ・特別支援教育費補助金:1園	振興補助金、特別支援教育費補助金の交付により、私立認定子ども園に対する支援を行った。
<b>認定子ども園就園奨励事業【健康未来子ども課】</b> 通園補助	認定子ども園に通園する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、認定子ども園3園に通園費補助金を交付した。	認定子ども園に通園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図った。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	2
総合計画ページ	P. 34		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	2	小・中学校教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校の創意を活かす教育の推進</li> <li>■ 学ぶ意欲を高める学習指導の推進</li> <li>■ ふるさと学習・キャリア教育の推進</li> <li>■ 震災体験を活かした防災教育の推進</li> <li>■ 読書活動の推進</li> <li>■ 英語教育・国際理解教育の充実</li> <li>■ 日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応</li> <li>■ いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進</li> <li>■ 非核平和教育の推進</li> <li>■ 食育の推進</li> <li>■ 学校給食の運営</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>教職員研修支援事業【学校教育課】</b> 小千谷市教育研究会が実施する研修への支援・補助	新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修が一部中止・縮小となったが、実施することができた事業については、支援・補助を行った。	小千谷市教育研究会の専門部による研修が充実し、教職員の資質向上につながった。
<b>ふるさと学習・キャリア教育・人権同和教育推進事業【学校教育課】</b> ふるさと学習パンフレットの改訂、社会科副読本の作成・改訂、自然体験活動や地域産業を知る活動の推進、職場体験活動、人権同和教育の充実	各校の人権教育、同和教育の実施状況や教職員の研修状況を調査した。これを基に、今後の推進の在り方を検討した。【外部講師の招聘を進める、人権教育、同和教育の全体計画に実施月や使用教材を明示し着実な指導を目指す。新発田・上越での実地研修に加え、魚沼地区での研修も推進する】 コロナ禍の中、「おぢやしごと未来塾」を実施し、市内中学校1、2年生のキャリア教育の推進を図った。中学校の職場体験は全て中止とした。	おぢやっ子教育プランで目指す「ふるさと教育」の着実な推進に向け「変わりゆく小千谷」「北越戊辰戦争と小千谷」「小千谷市全図」の改訂を行った。 コロナ禍ではあったが地元企業の応援を得て「おぢやしごと未来塾」の内容は年々充実してきている。 各中学校区での小中連携「人権教育、同和教育指導計画」が完成し、系統的な指導が今後展開されることとなる。
<b>防災教育推進事業【学校教育課】</b> 震災等の教訓の継承、防災に関する学習資料やおぢや震災ミュージアム「そなえ館」などを活用した防災教育の推進、中越大震災の日給食の実施	防災教育プログラムを軸にした防災教育に各校が取り組んだ。「そなえ館」の一層の活用が課題である。 中越大震災の日になんだ防災給食が各校に提供され報道で取り上げられた。中学校3年生対象の「おぢや防災塾」を実施した。 危機管理課とともに小中学生対象の防災パンフレットの改訂に取り組んだ。	各校で中越大震災の日に、防災訓練や防災に関する講演会、防災給食の提供などを実施し、震災を風化させることなく、次世代に継承していく取組が定着してきている。 中学校3年生を対象とした防災教育講演会「おぢや防災塾」が定着した。
<b>子ども読書活動推進事業(再掲)【生涯学習課】</b> 小・中学校図書館担当者連絡会議の開催、学校おはなし会、団体貸出	・小中学校図書館担当者連絡会議(1回) ・小学校等への団体貸出(延べ526件)、ミニ移動図書館の実施(7回)、ブックトークの実施(9回)、ブックトークは新たに中学校からの要望もあり実施	・図書館担当者連絡会議は、学校、図書館だけでなく、学校教育課も参加し、より情報共有、連携が図れるようになった。 ・学校への支援も低年齢が主となる読み聞かせのほか、ブックトークなどを実施することで、小学校高学年や中学生へのサービスにつながった。
<b>ALT派遣事業【学校教育課】</b> ALT(外国語指導助手)の拡充・派遣	外国人ALTを小・中学校に派遣し、外国語授業及び外国語活動の充実が図られた。ネイティブな英語に触れる機会を持つことで、生きた英語を学ぶとともに、英語によるコミュニケーション能力の育成につながった。 小学校への英語教育推進員の派遣により、新学習指導要領による新たな外国語教育に対応するための体制が充実した。	外国語指導助手の増員配置による授業支援により、外国語活動及び外国語授業の指導体制が充実し、児童生徒の外国語の学力向上につながった。
<b>適応指導教室事業【学校教育課】</b> 適応指導教室の運営	学校や関連諸機関、家庭と連携し不登校児童生徒の入級に向けた取組を推進した。入級生には学校復帰に向けての力を高めるための個別支援や交流活動を行った。	学校や関連諸機関、家庭との連携を密にし、有効な取組を行うことができた。通級生への様々な支援を行い、学校復帰に向けての力を高める場として一定の役割を果たすことができている。

<b>教育相談事業(再掲)【学校教育課】</b> 教育相談員の配置、教育相談の充実	教育センターでの保護者との相談に加え、隔週で各中学校に巡回相談に出掛けた。年間約400件の相談を行った。	児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC(児童用発達検査)の実施など多岐に渡って学校を支援しており、無くてはならない存在である。
<b>非核平和推進事業【学校教育課・企画政策課】</b> 【学校教育課】 原爆記録写真展の開催、平和学習研修の実施 【企画政策課】 非核平和を学ぶ機会の提供	【学校教育課】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。 【企画政策課】 ・非核平和ポスター展の開催(会場:サンブラザロビー) ・中学生代表による平和記念式典への参加、被爆体験伝承講話会については新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。 ・広島平和記念公園に奉納する折り鶴を募集し、約4万3千羽を奉納した。	【学校教育課】 代表生徒の広島平和記念式典等への派遣や、中学校単位の被爆体験講話等の実施により、生徒が平和を守ることの大切さについて学ぶことができた。 【企画政策課】 ポスター展、講話会などの啓発事業と中学生の派遣事業により、市民に対し、非核平和と生命や平和の大切さを学ぶための機会を提供することができた。
<b>食育推進事業【学校教育課】</b> 食に関する指導の充実、地産地消の推進、小千谷産コシヒカリによる米飯給食の推進	栄養教諭を中心に地元納入業者及び生産農家との意見交換を行い、これまで納品していなかった学校へも納品可能となり、小千谷産野菜の使用増加に繋がった。小千谷産コシヒカリによる米飯給食の推進と充実が図れた。食の指導について、コロナの影響から前年度に比べ指導回数が増加した。	学校と連携することで、小千谷市の食育計画を学校の食の指導計画に反映することができ、食の指導の充実、地産地消の推進、小千谷産コシヒカリによる米飯給食の推進を図ることができた。
<b>学校給食運営事業【学校教育課】</b> 安全・安心な学校給食の提供、調理・運搬業務の効率的な運営	学校・保護者と連携を図りながら適切な食事提供をすることができ、安心安全な学校給食が実施できた。常に学校・給食センター・委託業者が連携を図ることで調理・運搬等業務の効率的な運営を行うことができた。	安心安全な学校給食の提供、調理・運搬業務の効率的な運営のため、学校・給食センター・委託業者が連携を密にし、適切に対応することができた。

### 3. 評価指標やその他成果等

#### (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H27年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
将来の夢や目標を持っている児童の割合(小学校)	%	86.5	83.0	87.0	84.3	83.0	76.0	90.0	84.4	学校教育課
将来の夢や目標を持っている生徒の割合(中学校)	%	70.0	71.5	69.1	77.7	68.1	68.5	80.0	85.6	学校教育課
家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合(小学校)	%	78.6	76.2	76.0	77.5	80.0	72.8	85.0	85.6	学校教育課
家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合(中学校)	%	54.9	49.3	55.9	65.1	49.1	58.9	65.0	90.6	学校教育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童の割合(小学校)	%	99.1	98.3	98.9	98.3	97.8	97.5	100	97.5	学校教育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う生徒の割合(中学校)	%	94.5	94.2	93.4	98.7	95.1	97.8	100	97.8	学校教育課

#### (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【学校教育課】</b> ・教職2年目の若手教員を対象とした研修「小千谷塾」が浸透し、対象者のほぼ全員が受講し、指導力向上を図った。 ・英語の学力向上を目指し、市内の英語教員5名を対象に年間5回の研修会をもった。中越教育事務所の指導主事からの指導を受けた。 <b>【生涯学習課】</b> ・コロナ禍や遠隔地のため来館しにくい小学校に向けて、図書館のPR DVDを作成した。
--

#### (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【学校教育課】</b> ・小学校での職場訪問、中学2年生の職場体験が新型コロナウイルス感染症のため中止 ・小中学生を対象にしたイングリッシュキャンプが新型コロナウイルス感染症のため中止
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	3
総合計画ページ	P. 39		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	3	特別支援教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 就学相談体制の充実</li> <li>■ 通級指導教室の拡充</li> <li>■ 総合支援学校の運営支援</li> <li>■ 特別支援教育の充実</li> <li>■ 生徒への就労支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>就学相談事業【学校教育課】</b> 教育支援委員会の運営、就学相談体制の充実	年度初めに園と小学校、小学校と中学校の就学相談にかかわる職員同士の情報交換の場を設けたり、園、小・中学校の連携の在り方を研修会で学ぶことで、円滑に就学相談を進めることができた。	園への巡回訪問などにより就学前児童に対する早期からの就学相談の実施が定着しつつある。情報交換会の実施による円滑な就学相談の実施や、研修会の実施による専門性の向上により、教育支援委員会へ適切な就学先判断のための情報提供を行うことができた。
<b>通級指導教室拡充事業【学校教育課】</b> 中学校への通級指導教室設置に向けた取り組み	通級指導の充実や通級指導への理解が進み、通級を希望する児童生徒が増えている。	通級指導教室に対する教職員や保護者の理解が深まり、通級への希望が増え、言語通級指導教室が1学級増設された。
<b>特別支援教育推進事業【学校教育課】</b> 特別支援学級アシスタントの拡充、特別支援教育連絡協議会の設置・運営	特別な支援を要する児童・生徒に対応するため、特別支援学級アシスタントを小学校に24名、中学校に5名配置し、きめ細やかな支援を行うことができた。	特別支援学級の在籍児童・生徒数が増加傾向にある中、在籍者数や在籍児童・生徒の状況に応じた特別支援学級アシスタントの配置を行うことで、一人ひとりの教育ニーズに応じた支援の充実が図られた。
<b>総合支援学校運営事業【学校教育課】</b> 総合支援学校の運営支援	新型コロナウイルス感染症防止に努めながら、教育活動の充実が図られた。	特別支援教育に対する保護者の理解が進み、総合支援学校への入学者が増加した。入学者の増加にともない作業棟の増設を行い、教育の充実が図れた。
<b>就労支援事業【学校教育課】</b> 企業及び障がい者就労施設等関係機関と連携した就労支援	新型コロナウイルス感染症防止に努めながら、職場実習を行うことができた。	特別支援教育や障がい者に対する理解が少しずつ進み、毎年、協力していただける企業が増加している。今後は、就労移行支援に係わる受入先を増やすことが課題である。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	4
総合計画ページ	P. 41		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	4	教育環境の整備
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校施設の整備・充実</li> <li>■ 学校給食施設の整備・充実</li> <li>■ 情報化の推進</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>学校施設整備事業【学校教育課】</b> 小・中学校、総合支援学校の大規模改修	R2実施なし	各施設の状態を確認し、優先順位をつけて対応したが、全教室へのエアコン整備や1人1台端末整備を行ったことによる財政支出もあり、目標値は達成できなかった。今後大規模改造が必要な施設では、建物の内外装、各種設備が経年劣化により老朽化が進行しており、改修費用の増大が懸念される。
<b>学校給食施設整備事業【学校教育課】</b> 学校給食施設の整備	大きな事故等もなく、安心・安全な給食の提供を行うことができた。また、国の交付金を活用するなどしながら、機器の入れ替えを進めた。	機器の入れ替えを計画的に進めたが、その他に更新時期を迎えているものもあり、機器の老朽化が進行している。
<b>情報化推進事業【学校教育課】</b> ICT教育の推進に向けた環境整備、情報モラル等研修事業、情報教育業務	GIGAスクール構想による校内ネットワーク環境及び1人1台端末の整備が完了し、ICT教育の推進を図るためのハード整備を行った。	GIGAスクール構想により、ICT教育を進めるための環境は整った。R3年度以降は、ICT教育指導主事を配置し、ICT教育の推進を図る。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
*大規模改修が必要な校数(棟数):9校(16棟)										
小・中学校の大規模改修実施校数(累計)	校	5	6	6	7	7	7	9	77.8	学校教育課
小・中学校の大規模改修実施棟数(累計)	棟	10	11	11	12	12	12	16	75.0	学校教育課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

・R2年度に総合支援学校の作業棟の増築を行い、教室不足の解消及び学習環境の改善が図られた。

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	5
総合計画ページ	P. 42		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	5	育英事業の推進
施策の基本方針	<p>■ 育英事業の支援</p>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
事業概要 <b>育英事業【学校教育課】</b> 奨学金事業、小千谷学生寮の利用促進に向けた支援	新型コロナウイルス感染症の影響により保護者や学生本人の収入が減少し、学業に支障をきたしている学生に向け、奨学金の追加募集を行った。小千谷学生寮の利用促進に向け、女子の入寮が可能となるよう施設改修を行った。	経済的理由により就学が困難な者に対し、奨学金を貸与し、教育の機会均等を図った。小千谷学生寮の利用促進のため、施設改修を行い、女子の入寮を可能とした。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
奨学資金新規貸与者	人	27	28	23	19	21	17	30	56.7	学校教育課
小千谷学生寮入寮者/年	人	17	19	25	25	24	22	25	88.0	学校教育課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【学校教育課】</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大のため学生寮見学バスツアーが実施できず、入寮生の募集活動が十分にできなかった。
--



【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	6
総合計画ページ	P. 43		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習事業の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学習機会の充実</li> <li>■ グループ活動の支援</li> <li>■ 指導体制の充実</li> <li>■ 公民館活動の充実</li> <li>■ 図書館サービスの充実</li> <li>■ 生涯学習施設の整備</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>生涯学習奨励事業【生涯学習課】</b> 学級・講座の開催、講演会の実施	発達障がい等への理解を深め、子どもとともに保護者等も成長することを目的として家庭教育事業「子育て講座」を開催。年3回、参加者数は延べ36人。	子育ての方法を知る場を探していた方に学習の機会を提供することが出来た。情報交換をすることで同じ悩みを持つ方との出会いの場を提供することが出来た。
<b>おちやを支える次世代人材育成事業【生涯学習課】</b> 地域リーダーの育成	R2実施なし	高校生対象、成人対象の講演会・ワークショップをそれぞれ複数回実施し、地域の担い手の育成・意識づけを行った。
<b>公民館創設70周年記念事業【生涯学習課】</b> 記念式典、記念誌発行	R2実施なし	記念事業としてH28年5月に田中陽希講演会、同年6月にはNHKラジオ番組「民謡をたずねて」公開収録、同年9月にはオペラコンサートを実施し、H29年3月に70周年記念誌を発行した。
<b>公民館分館活動助成事業【生涯学習課】</b> 分館活動運営委託	・コロナ禍により運動会などの体育的イベント、作品展などの文化的イベントや地域の祭礼等が中止になった。	・学芸員によるまちあるき、子育て講演会、健康ウォークや市外バス研修を行い参加者を増やす取り組みを実施した。 ・R2年度はコロナ禍でも感染防止対策を行いながらポッチャ大会の開催や市主催の「謎とき！？ウォークラリー」に参加した分館もあった。
<b>図書館振興事業【生涯学習課】</b> 読書環境の整備、図書資料の充実	・コロナ禍による休館や利用時間制限があったが、貸出可能冊数を増やすなどしたことにより、1人当たりの利用冊数は現状を維持した。 ・掲載されている情報が古くなった書籍を廃棄するなどし、書棚の新陳代謝をすることで利用者の利便性を図った。	・大活字本やLLブックなど多様性に対応できる資料を所蔵することで、高齢者や障がいのある方など様々な人が利用している。 ・SNSを利用することで、これまで図書館に興味のなかった人への働きかけやタイムリーな情報発信が可能となった。
<b>子ども読書推進事業【生涯学習課】</b> ブックスタート事業、ボランティアによる読み聞かせ活動	・希望する保育園、幼稚園、読み聞かせボランティア等へ団体貸出を実施(延べ526件) ・市の10か月児健診時にブックスタートを実施したが、コロナウイルス感染予防のため、読み聞かせは実施せず、絵本等のプレゼントのみを実施(196人)	H30年度からブックスタート事業を実施(3年間で延べ606人)し、参加した方の98%から満足したとの回答を得た。また、1歳6か月児健診時のアンケートでは、93%が読み聞かせを実施しているという成果があった。(R1年度調査)
<b>図書館創設40周年記念事業【生涯学習課】</b> 記念誌発行	R2実施なし	・40周年記念事業として、女優の中江有里さんによる読書にまつわる講演会を開催した。 ・記念シンポジウムとして、図書館に造詣の深い講師による「図書館のここが知りたい!？」を開催した。
<b>生涯学習施設整備事業【生涯学習課】</b> 市民会館耐震改修、市民会館大ホール天井・舞台設備改修、市民学習センター施設整備、市民の家施設整備、図書館施設整備の検討	・市民会館網戸設置工事 ・市民学習センター自動水栓化工事	・適宜、施設改修と設備更新を実施し適切な施設運営を行った。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
市民会館利用者数	人	63,086	62,650	15,149	58,009	52,781	32,694	70,000	46.7	生涯学習課
図書館貸出延人数	人	42,006	43,679	40,607	40,829	40,518	36,681	46,000	79.7	生涯学習課
図書貸出冊数/人	冊	4.0	3.6	3.6	3.7	3.7	3.8	4.6	82.6	生涯学習課
市民の家利用者数	人	4,743	8,552	17,413	19,997	15,084	4,998	14,000	35.7	観光交流課
勤労青少年ホーム「ホットプラザ」利用者数	人	19,704	22,119	21,346	17,706	20,173	13,221	20,000	66.1	生涯学習課
市民学習センター「楽集館」利用者数	人	45,661	36,505	43,594	36,886	35,089	16,886	50,000	33.8	生涯学習課
公民館学級・講座等開設数(合計)		60	58	59	41	42	46	75	61.3	生涯学習課
(内訳) 青少年対象		19	12	10	7	8	11	23	47.8	
(内訳) 成人対象		8	7	9	2	4	6	12	50.0	
(内訳) 中高年対象		1	1	1	1	1	0	3	0.0	
(内訳) 高齢者対象		7	7	7	7	7	7	7	100.0	
(内訳) 家庭教育		25	31	32	24	22	18	30	60.0	
公民館学級・講座等延参加人数	人	5,747	5,446	5,584	5,787	5,064	2,705	6,250	43.3	生涯学習課
(内訳) 青少年対象		397	339	146	182	236	285	400	71.3	
(内訳) 成人対象		677	351	484	154	309	380	700	54.3	
(内訳) 中高年対象		89	56	45	99	73	0	250	0.0	
(内訳) 高齢者対象		2,756	2,762	2,699	3,027	2,573	1,307	3,000	43.6	
(内訳) 家庭教育		1,828	1,938	2,210	2,325	1,873	1,050	1,900	55.3	
分館事業開催事業数(合計)		2,061	1,926	1,825	2,031	1,900	881	2,075	42.5	生涯学習課
(内訳) 講習会・講演会・実習等		31	26	29	23	32	6	35	17.1	
(内訳) 定期講座		35	25	36	148	144	119	35	340.0	
(内訳) 文化・芸術事業等		790	695	611	663	617	183	800	22.9	
(内訳) 体育・スポーツ事業		770	764	733	662	524	302	780	38.7	
(内訳) レク・娯楽活動		57	74	65	91	83	26	60	43.3	
(内訳) 会議		294	259	265	282	343	179	280	63.9	
(内訳) その他		84	83	86	162	157	66	85	77.6	
分館事業開催参加人数(合計)	人	40,534	39,301	33,979	38,770	38,861	10,136	40,600	25.0	生涯学習課
(内訳) 講習会・講演会・実習等		781	669	792	667	681	99	800	12.4	
(内訳) 定期講座		666	519	514	1,515	1,495	1,114	700	159.1	
(内訳) 文化・芸術事業等		14,962	12,469	9,399	11,418	11,378	1,534	15,000	10.2	
(内訳) 体育・スポーツ事業		15,015	15,207	12,854	10,588	12,152	4,206	15,050	27.9	
(内訳) レク・娯楽活動		3,881	5,491	5,223	8,696	6,881	972	3,900	24.9	
(内訳) 会議		3,490	3,174	3,412	3,591	3,882	1,415	3,350	42.2	
(内訳) その他		1,739	1,772	1,785	2,295	2,392	796	1,800	44.2	

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

## 【生涯学習課】

・H30に戊辰150年記念事業として「小千谷談判」の上演や戊辰戦争に関する企画展を実施した。また、市民会館リニューアル公演として小千谷市出身のオペラ歌手品田広希さんを中心に、プロのオペラ歌手や演奏家、市民合唱団とともに「コミュニティオペラ2018」を上演した。

・R1に第34回国民文化祭にいがた大会があり、市独自事業として明石堂の一般公開、小千谷縮に関する資料の展示や高校生による小千谷縮ファッションショー、毎晩日替わりの伝統芸能上演を実施した。また、錦鯉発祥の地である小千谷東山で10月に牛の角突きの特開催を実施した。

・第34回国民文化祭にいがた大会応援事業として、市内のそば店とラーメン店がタッグを組んで限定メニューを考案し、各店舗で提供しコラボイベントを実施した。

・地域活性化に繋がる日本各地のご当地ラーメン・そば等を紹介するフードジャーナリストはんつ遠藤氏によるオープニング講演会を実施した。

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

## 【生涯学習課】

・市民会館舞台設備改修は点検結果により安全面など懸念されたが、多額な経費負担による財源確保が困難なことから未実施となっている。

・R2に文化講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	7
総合計画ページ	P. 46		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	2	青少年の健全育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 相談業務の充実</li> <li>■ 育成指導体制の充実</li> <li>■ 家庭教育の支援</li> <li>■ 地域活動などへの参加推進</li> <li>■ 地域ボランティアの活動支援</li> <li>■ 子ども・若者育成への支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">■ 勤労青少年の活動支援</p>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>事業概要</b> <b>青少年育成事業【生涯学習課】</b> 悩み相談、声かけ活動、青少年体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間37件の相談受付(9割は電話相談)</li> <li>・街頭声かけ活動 44回</li> <li>・青少年育成キャンプ 小学生27名参加</li> <li>・手づくり教室 3回派遣</li> </ul>	相談件数はH28年度の226件からR2年度は37件と減少傾向にあるが、数年にわたる継続的な相談もある。 また、キャンプや手づくり教室を実施したことにより、青少年の健全育成を推進することができた。
<b>家庭教育地域交流振興事業(再掲)【生涯学習課】</b> 保育園、認定こども園、小・中学校などと連携した家庭教育講座の充実	1園、9小中学校、1団体を支援。親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座開催を支援し講座の充実を図った。	乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及・振興を図ることができた。
<b>地域子どもはぐくみ事業【生涯学習課】</b> 放課後子ども教室の実施、学校支援地域本部の設置	5小学校で計157回放課後子ども教室を実施。参加延人数は児童3,246人、ボランティア705人であった。 各小学校のボランティアに保険をかけ、地域住民の学校ボランティアとしての活動を支援した。	参加延人数が増え、事業が定着した。子どもたちの放課後の居場所の確保とボランティアがいそがしいを感じる場づくりを行った。
<b>勤労青少年への活動支援【生涯学習課】</b> 趣味・教養・キャリア形成等の講座開設・運営、自主活動支援	講座・教室延べ90回開催、利用者協議会によるイルミネーションイベントの開催	講座受講生のアンケート結果をもとに、講座の新設・コース増設を行い、新規受講生やリピーターを獲得した。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
勤労青少年対象の講座・教室開催数(延べ数)	回	89	93	82	96	90	90	90	100.0	生涯学習課
勤労青少年対象の講座・教室参加人数(延べ数)	人	1,294	874	812	882	923	771	1,400	55.1	生涯学習課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【生涯学習課】</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用者協議会のおぢやまつりへの参加及びホットプラザ祭の開催を中止とした。(R2年度)(勤労青少年ホーム)
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	8
総合計画ページ	P. 48		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	1	文化・芸術の振興
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化団体などの育成支援</li> <li>■ 芸術鑑賞の機会の充実</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>文化振興基金事業【生涯学習課】</b> 国際交流・文化・スポーツ振興基金による助成事業	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	市民に対し、文化事業を行う市民団体がH28年度4団体であったが、R元年度は5団体となり団体活動の支援が拡大された。
<b>芸術文化振興事業【生涯学習課】</b> 市展、市民音楽祭、市民芸能まつり、市民文芸のつどい、芸術鑑賞ツアー	検温、消毒や換気などの感染症予防対策を行ったうえで、市展及び市民文芸のつどいを実施した。	各種事業における運営方法の改善により、参加者が増加し、特にR元年度に実施した国民文化祭の小千谷市独自イベントでは多くの参加があった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
芸術文化振興事業(市展・音楽祭・芸能まつり・文芸のつどい)参加者数	人	11,534	8,055	9,963	12,087	20,404	7,504	13,000	57.7	生涯学習課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【生涯学習課】</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市民音楽祭・市民芸能まつりの開催を中止した。(R2年度)
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	9
総合計画ページ	P. 49		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	2	文化財等の保存と活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化財の調査、保存</li> <li>■ 文化施設(郷土資料館等)の整備</li> <li>■ 後継者の育成</li> <li>■ 郷土の偉人の顕彰</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>埋蔵文化財調査事業【生涯学習課】</b> 遺跡の把握、諸開発との調整、発掘調査	13件の試掘確認調査【過去最多は6件】 栗山地区において堅穴住居4基、縄文土器・石器が出土した。本発掘調査の要否について県農政と協議中である。	試掘確認調査や分布調査により、遺跡の把握に努めている。市内の遺跡数は、H28末312件からR2末424件と112件が増加している。
<b>文化施設建設事業【生涯学習課】</b> 建設基金積立、整備計画策定	若柘民具収蔵庫の民俗資料について、民具の全体量約2,500点、考古資料において展示に使用できる約50点の把握を行った。	市が保有する文化財の現状や、数量の把握を始めた。市民と協働し管理運営を行うために人材の掘り起こしを始めた。
<b>伝統民俗芸能伝承事業【生涯学習課】</b> 郷土芸能団体などへの支援	国庫補助を活用し、巫女爺屋台修理・豊年獅子舞獅子頭修理、その他シンポジウム等のソフト事業を行い、伝統民俗芸能の市民への理解を深めた。	用具修理や、伝統民俗芸能を活かしたまちづくりのために、国庫・市単補助金を活用し、支援を行った。
<b>小千谷縮布技術伝承者養成事業【生涯学習課】</b> 技術伝承者養成講習会などへの支援	講座: 絣作り、いざり機【9日間】10名参加 講習会: 苧績み、絣作り、いざり機、仕上げ【100日間】16名参加	小千谷縮製作体験講座は、累計受講者157名が参加した。伝承者養成事業では3名が市内在住の織子となった。ほか技術伝承者として市内外に20名の伝承者を養成した。
<b>文化・歴史・産業遺産保存活用事業【生涯学習課】</b> 歴史的建造物や景観等の調査・指定・保存	建造物の意向アンケート調査を実施した。	23件の建造物調査を行い、うち9件を国有有形文化財に登録した。残りの14件について、所有者へ意向確認を行い、登録を進める必要がある。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
登録有形文化財(建造物)数	件	0	4	7	7	8	9	5	180.0	生涯学習課
小千谷縮布製作技術習得人数(累計)	人	—	11	13	14	18	20	20人増	—	生涯学習課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財展示場所の開拓: 行政施設における遊休スペースや市内郵便局等の、市民の目に多くふれる箇所にて積極的な活用を行った。</li> <li>・新しい視点の企画展: 【R2実績延5,872人】これまで美術工芸品を中心に展示を行ってきたが、埋蔵文化財や民俗資料等の公開されてこなかった資料を扱う。また保存団体等関係者を巻き込んだ企画展運用に努めている。</li> <li>・国庫補助金の確保: 従来活用してこなかった国庫補助にて伝統芸能・埋蔵文化財の保存を行った。</li> </ul>
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存団体の高齢化に伴う担い手減少が認められる。 地域コミュニティの狭小化に伴い、若手を中心とした担い手育成が困難である。</li> <li>・活用機会の減少や、保存のための財源縮小を要因とした保存団体のモチベーション低下が顕著である。</li> </ul>
---

## 【第五次小千谷市総合計画】

前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	10
総合計画ページ	P. 51		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	1	地域スポーツの振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯スポーツの推進</li> <li>■ 競技スポーツの推進</li> <li>■ スポーツ活動の普及推進</li> <li>■ 指導者養成の推進</li> <li>■ 健康・体力づくりの推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>事業概要</b> <b>スポーツ振興事業【生涯学習課】</b> 各種大会の開催、ジュニア育成強化、総合型スポーツクラブとの連携	新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業もあるが、対策を講じながら、各種大会や総合型地域スポーツクラブと連携したオリパラ気運醸成事業「ボッチャ体験会」などを開催した。	各種事業を通じてジュニア選手の育成強化を図ってきたほか、一般を対象とした専門種目の大会や、楽しみながら参加できる大会を開催してきた。 総合型地域スポーツクラブとは、健康ポイント事業のほかボッチャの普及等で、さらに連携して取り組んでいる。
<b>指導者養成事業【生涯学習課】</b> スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会の開催	オンラインによる「メンタル・セミナー」を2回開催し、自ら考え、動ける子どもを育てるための指導者の関わり方などを学んだほか、陸上・野球の指導者講習会を開催した。	指導者全般に関わる講習会(7回)や、陸上・野球・卓球など、種目に特化した講習会(10回)の開催を通じて、指導者の資質向上に努めた。
<b>健康づくり推進事業【健康未来こども課・生涯学習課】</b> 健康ポイント制度の導入	おぢや健康こいこいポイント事業 ・健康教室： 地域編 2会場 34人、一般編 2会場 18人 ・体力ヘルスチェック:10回 94人 ・「自宅のできるおすすめ体操」の動画配信	健康教室事業開始から5年が経過したが、地域での健康教室の開催をきっかけとして、その後の自主的な継続につながるなど、運動習慣のきっかけづくりや運動を通じた地域の活性化にもつながっている。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H25年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
週1回以上運動する人の割合	%	29.3	41.0	31.5	-	-	34.9	50.0	69.8	生涯学習課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【生涯学習課】</b> ・東京オリンピック・パラリンピック大会も踏まえ、ボッチャの大会や教室等を通じて、障がい者も参加しやすく、共に楽しめる機会が創出されてきている。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【生涯学習課】</b> ・働き盛りの世代において、健康維持のための運動の必要性は感じているものの、自分の余暇時間が確保しづらいことなどから、運動の習慣化に結び付いていない傾向が続いている。そのため、生活習慣病や運動器疾患の予防に向けて、ワークライフ・バランスの改善や運動実施率を高めるための啓発、情報の提供などを、より進める必要がある。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	11
総合計画ページ	P. 53		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	2	体育施設の整備
施策の基本方針	■ 体育施設の整備・充実 ■ 屋根付き屋外運動施設の整備検討 ■ 白山運動公園の再整備計画	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>総合体育館整備事業【生涯学習課】</b> 設備更新	市民プール塩素供給装置更新、屋根融雪設備修繕、メインアリーナ床金具交換、冷温水発生機修繕、網戸設置工事、自動水栓化工事	適宜設備更新を実施し、適切な施設運営を行った。
<b>白山運動公園整備事業【生涯学習課】</b> 白山運動公園施設再整備計画策定、野球場バックネット更新、グリーンヒル白山体育室天井等落下防止対策	児童遊園ジャングルジム更新、グリーンヒル白山網戸設置工事	予定した設備更新及び工事を実施し、適切な施設運営を行った。
<b>千谷運動公園整備事業【生涯学習課】</b> 野球場防球ネット更新	野球場防球ネット更新	予定した更新工事を実施し、施設の機能性を高めた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
体育施設利用者数(合計)	人	330,427	329,230	298,642	293,837	274,496	194,052	354,200	54.8	生涯学習課
(内訳)総合体育館	人	210,501	202,644	193,676	188,677	183,033	132,435	220,000	60.2	生涯学習課
(内訳)市民プール	人	13,439	17,638	13,377	16,334	14,148	8,843	17,000	52.0	生涯学習課
(内訳)東小千谷体育センター	人	24,119	26,371	22,973	20,216	20,178	14,482	25,000	57.9	生涯学習課
(内訳)白山運動公園(野球場)	人	2,410	5,504	5,085	5,379	3,384	2,006	4,000	50.2	生涯学習課
(内訳)白山運動公園(庭球場)	人	12,630	11,612	11,094	10,860	10,623	7,955	13,000	61.2	生涯学習課
(内訳)白山運動公園(陸上競技場)	人	4,032	6,320	5,122	5,018	4,617	2,362	5,000	47.2	生涯学習課
(内訳)白山運動公園(多目的広場)	人	8,615	8,791	7,061	8,799	7,849	6,541	9,000	72.7	生涯学習課
(内訳)白山運動公園(グリーンヒル白山)	人	9,105	9,208	12,945	11,796	8,862	5,320	10,000	53.2	生涯学習課
(内訳)信濃川河川公園(野球場)	人	2,476	2,507	2,365	2,281	1,071	401	3,000	13.4	生涯学習課
(内訳)信濃川河川公園(多目的グラウンド)	人	5,842	2,260	4,594	3,531	2,827	1,283	7,000	18.3	生涯学習課
(内訳)千谷運動公園(野球場)	人	4,420	3,111	2,901	2,668	2,074	1,399	5,000	28.0	生涯学習課
(内訳)千谷運動公園(庭球場)	人	6,638	6,120	5,941	7,074	4,568	3,069	6,700	45.8	生涯学習課
(内訳)千谷運動公園(多目的広場)	人	2,335	2,214	2,350	2,359	2,780	1,470	4,000	36.8	生涯学習課
(内訳)南部スポーツ広場	人	5,338	4,010	4,355	3,860	3,890	2,728	5,500	49.6	生涯学習課
(内訳)片貝スポーツ広場(野球場)	人	2,903	3,903	4,803	4,985	4,592	3,758	4,000	94.0	生涯学習課
(内訳)片貝スポーツ広場(スポーツセンター)※	人	15,624	17,017	—	—	—	—	16,000	—	生涯学習課

※片貝スポーツ広場(スポーツセンター):平成29年4月1日から使用中止

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【生涯学習課】  
・新型コロナウイルス感染症に対する施設利用において、感染拡大防止のため適切な使用制限と予防対策を行った。

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

【生涯学習課】  
・白山運動公園施設再整備計画策定において、前段として屋外体育施設一体での検証が必要となっている。

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	12
総合計画ページ	P. 56		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	1	子どもを産み育てやすい環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子ども・子育て支援事業計画の推進</li> <li>■ 医療費助成事業の推進</li> <li>■ 母子保健事業の充実</li> <li>■ ベビー・ファースト事業の推進</li> <li>■ 子育て支援センターの拡充</li> <li>■ ファミリー・サポート・センター事業の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>医療費助成事業【健康未来こども課】</b> 子ども医療費助成、不妊治療費助成	引き続き、子ども医療費助成・妊産婦医療費助成を実施したが、妊産婦医療費助成は申請が0件だった。不妊治療費助成では、1治療80,000円を上限に助成し、約6割が妊娠成立した。	H30年度の妊産婦医療費助成の開始、子ども医療費助成の高校卒業年齢相当までの対象者拡充により、子どもを産み育てたい人や子育て世帯への経済的負担軽減を図ることができた。
<b>母子保健事業【健康未来こども課】</b> 妊婦健康診査・歯科検診、うぶごえ教室の開催、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、産後ケア事業	R2年度に子育て世代包括支援センターを設置。妊娠届出時にすべての妊婦に面談を行い、不安や心配事の把握と各種保健事業の情報提供を行った。産婦新生児訪問を100%実施し、産後に精神的に不安定な産婦には産科医療機関や在宅助産師と連携して継続支援を行った。	子育て世代包括支援センターを設置し、産後うつや虐待予防に向けた相談体制の充実、関係機関との連携強化を図ることができた。妊産婦に対して継続した支援を行い、各種保健事業の利用につなげることができた。
<b>ベビー・ファースト事業【健康未来こども課】</b> ベビー・ファースト運動の啓発、駐車場マタニティーマーク設置費補助	母子健康手帳交付時にマタニティーキーホルダーとマタニティーエコバックを配布した。市内店舗に対してマタニティーマーク設置費補助の周知を行った。	広報誌を活用したベビー・ファースト運動の啓発、妊婦へのマタニティーマークの活用を促し、地域全体で子育てをしていく意識の啓発を行った。
<b>子育て支援センター事業【健康未来こども課】</b> 子育て支援センター事業の運営、子育て教室の開催、子育てなんでも相談の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用及び一部の講座やイベントを縮小・中止したが、LINEにより子育てに関する情報や親子ふれあい遊び等の動画を発信した。	子育て支援センター(現地域子育て支援拠点施設「わんパーク」)において、就園前の子どもたちを中心とした子育てに関する各種相談の実施や子育て教室等の開催により、子育て支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、LINEを活用して、子育てに関する情報や親子ふれあい遊び等の動画を発信した。
<b>ファミリー・サポート・センター事業【健康未来こども課】</b> 提供会員養成講座の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期の講座は中止した。後期の講座には21名が参加した。	会員養成講座は、R2年度の新型コロナウイルス感染症対策による1回の中止を除き、計画通り実施した。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
妊産婦・新生児訪問指導実施率	%	94.0	96.0	96.7	94.4	96.5	92.8	100	92.8	健康未来こども課
低体重児出生率	%	10.5	7.7	11.9	7.4	9.0	10.2	10%以下	—	健康未来こども課
子育て支援センターにおける講座・教室開催数	回	64	64	77	67	59	27	68	39.7	健康未来こども課
子育て支援センターにおける講座・教室延べ参加人数	人	2,284	1,920	2,408	1,923	1,507	780	2,400	32.5	健康未来こども課



## (2)その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

## 【健康未来こども課】

・産後ケア事業は、子育て世代包括支援センターや産科医療機関との連携により、支援を要する産婦が利用につながった。

## 【生涯学習課】

・未就学の乳幼児を対象とし市民会館内に「わくわくルーム」、総合体育館内に「幼児プレイルーム」を設置している。また、小学4年生以下を対象に総合体育館内に「キッズルーム」を設置し、年齢に応じた室内での子どもの遊び場を提供している。

## 【建設課】

・R6年度に整備を予定する、図書館等複合施設に全天候型の子どもの遊び場を整備予定。R2年度に設計業務に着手した。

## (3)計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

## 【健康未来こども課】

・妊産婦・新生児訪問指導の実施率の低下は、新型コロナウイルス感染症の影響により、妊婦訪問指導において電話での状況確認とし、訪問は希望者のみとしたことによるものである。産婦・新生児訪問指導の実施率は100%であった。

・妊産婦医療費助成のR2年度利用実績が0件だったことについては、事業の周知不足も要因として考えられる。

・子育て支援センター（現地域子育て支援拠点施設「わんパーク」）における子育て講座・教室の開催回数・参加人数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の利用規制や一部の講座・教室を縮小・中止したことにより減少した。

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	13
総合計画ページ	P. 59		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	2	子育て支援の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子ども・子育て支援事業計画の推進</li> <li>■ 保育園などの適正配置の検討</li> <li>■ 保育サービスの拡充</li> <li>■ 食育の推進</li> <li>■ 放課後児童クラブ(学童保育)への支援</li> <li>■ ひとり親家庭への支援</li> <li>■ 児童虐待・DV防止ネットワークの連携強化</li> <li>■ 子どもの貧困への支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>認定こども園支援事業【健康未来こども課】</b> 設置法人への施設整備費補助、運営費補助	国や県の補助金を活用し、安定的な運営を支援した。	国や県の補助金を有効活用し、私立認定こども園の安定的な運営支援を行った。
<b>保育サービスの拡充【健康未来こども課】</b> 早朝・延長保育、土曜日の延長保育、通園費補助、病児病後児保育	早朝保育(利用実人数:8園24人)、土曜日を含む延長保育(利用実人数:476人)、一時保育(預かり児童延人数422人)、通園費補助、病児病後児保育(利用児童延人数18人)を実施した。	早朝保育、土曜日を含む延長保育や一時保育、病児病後児保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。また、通園費補助により、保護者の経済的負担の軽減を図った。
<b>食育推進事業(再掲)【健康未来こども課】</b> 食に関する実態把握及び指導、地産地消の推進	望ましい食習慣の定着を目標に、食生活改善推進委員と協働して親子や高校生への啓発事業等を実施した。高齢者へはフレイル予防について啓発し、理解を深めることができた。	小学生や高校生などの若い世代から高齢者まで、幅広い世代へ向けて望ましい食事について普及啓発を実施することができた。
<b>放課後児童健全育成事業【健康未来こども課】</b> 設置団体への運営費補助、空き教室等の活動場所の確保支援	新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により、保育が必要な児童の保育を実施した。市は設置団体へ運営補助金を交付した。	保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に対し、放課後の仲間づくりや安全な居場所の提供をする「放課後児童クラブ」の安定的な運営を支援した。また、設置数については目標である10団体を達成した。
<b>ひとり親家庭支援事業【健康未来こども課】</b> 児童扶養手当の支給、医療費助成、就労支援	受給者への手当の支給及び医療費の助成を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として臨時特別給付金の支給を速やかに行った。就労支援に関しては広報紙への掲載やパンフレットの送付など周知に努めた。	児童扶養手当及び医療費助成に関し申請漏れはないが、就労支援も含め、各種制度の対象となり得る方に必要な情報が届くよう、引き続き周知に努める必要がある。
<b>児童虐待・DV防止ネットワーク事業【健康未来こども課】</b> 小千谷市こどもを守る地域連絡会参画団体の連携強化	小千谷市こどもを守る地域連絡会の関係機関により、実務者会議3回と適宜個別ケース検討会議を実施した。代表者会議については、コロナ禍のため開催を見合わせた。関係機関職員のスキルアップ及び連携強化のため、児童虐待防止研修会を開催した。	小千谷市こどもを守る地域連絡会における各種会議や児童虐待防止研修会の開催、また、R2年度の組織変更に伴う「子ども」関連の機能をあすえへに集約したことにより、関係機関の情報共有・連携強化を図ることができた。
<b>就学援助制度【学校教育課】</b> 児童生徒が就学に必要な費用の支給	R2年度は、346人の児童生徒の保護者に、学用品費など児童生徒の就学に必要な費用を支給した。	児童生徒が就学するために必要な費用を負担することが困難な方に対して、学用品費などを支給し、義務教育の円滑な実施につながった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標（前期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
保育園受け入れ定員数	人	960	1,105	1,105	1,105	1,160	1,191	1,080	110.3	健康未来こども課
学童クラブ(通年型)設置数	団体	8	10	10	10	10	10	10	100.0	健康未来こども課

## (2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

## 【健康未来こども課】

・3歳未満児保育や多様な保育ニーズの高まりや保育施設の老朽化等を踏まえ、効率的に保育園を運営するため、小千谷市保育園適正配置基本方針を策定した。

・子どもの貧困について、ひとり親家庭を含めた生活困窮世帯等の子どもを対象に学習・生活支援事業を実施し、1名の利用があった。

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	14
総合計画ページ	P. 62		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	1	健やかな体づくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 健康づくりを推進する体制の充実</li> <li>■ 健康増進計画・食育推進計画、歯科保健計画の推進</li> <li>■ 生活習慣病予防対策の推進</li> <li>■ 母子保健事業の充実</li> <li>■ 歯科保健の推進</li> <li>■ 食育の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>健康づくり推進事業(再掲)【健康未来こども課】</b> 健康づくり推進協議会、健康福祉まつり、町内健康づくり事業、保健推進員・食生活改善推進委員活動の支援	新型コロナウイルスの影響により、健康福祉まつりや町内での健康づくり事業の開催を中止した。また、保健推進員や食生活改善推進委員による活動も減少したが、町内や地域とのパイプ役である委員への啓発を通して、地域へ波及してもらうよう働きかけた。	健康づくりに関する様々な関係団体と連携し、多方面から健康づくりへのアプローチを進めることができた。
<b>健康手帳事業【健康未来こども課】</b> 健康手帳の交付	事業が補助対象外となったことや手帳の生産中止により、R2年度は在庫分のみ交付した。	環境の変化が進む中で、健診受診や健診結果に意識を持って自らの健康に関する関心を高めることにつながった。
<b>健康教育事業【健康未来こども課】</b> 生活習慣病予防・糖尿病予防・歯科疾患予防・運動器症候群予防健康教育	新型コロナウイルス感染拡大防止の視点から、健康教育事業がほとんど実施できず、健康情報の普及啓発の機会が減少した。運動器疾患の予防、運動習慣づくりのため、健康ポイント事業を総合型地域スポーツクラブ等と取り組み、1会場で自主運営につながった。「フレイル予防のための運動器科学講座」では多職種連携を推進し、新たな運動プログラムの検証のほか、広報での健康情報発信を継続実施した。	健康づくりの担い手である地区組織や関係団体との協働により、健康づくりを実践できるような内容や取り組みを実施できた。「フレイル予防のための運動器科学講座」では、啓発活動や人材育成を推進していくため、多職種連携会議を中心に取り組み、あらゆる年代に向けたアプローチにより、運動器疾患予防のきっかけとなった。
<b>健康相談事業【健康未来こども課】</b> 特定健康診査結果説明会、糖尿病予防相談会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、特定健診結果説明会は個別相談として実施した。健診結果も事前送付としたため、指導率は1割程度と大きく減少した。	健康相談は生活習慣を見直す意識付けを図る大事な機会であり、行動変容のきっかけとして効果的であった。早期受診や重症化予防にもつながっている。
<b>訪問指導事業【健康未来こども課】</b> 各種健診結果の要指導者等への訪問指導	保健師全体の訪問件数は、昨年度に比べ238件増加した。内訳では精神保健、母子保健に関する割合が増加した。	健診後などのタイムリーな働きかけが行えるよう、支援体制を整え、効果的に実施している。
<b>健康診査事業【健康未来こども課】</b> 特定健康診査、血糖検査、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、人間ドック	健康診査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診日程や会場を変更して実施した。肝炎ウイルス検診・骨粗鬆症検診では、フレイル予防のための運動器科学講座や健康ポイント事業とタイアップして実施した。	特定健診は日曜検診やレディース検診の機会を拡充し、受けやすい健診体制としたことで、特に若い世代の受診機会につながった。

<p><b>がん検診事業【健康未来こども課】</b></p> <p>胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診</p>	<p>集団検診として肺がん検診・特定健康診査、胃がん・大腸がん検診を同日に実施した。乳がん・子宮頸がん検診は、施設や車両による集団検診を同日に実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、検診日程や会場を変更し、感染症対策に努めるとともに、休日検診日の増設や会場までの送迎対応により実施した。</p>	<p>いずれの検診において休日検診体制を整えており、70歳未満の受診者の割合が高く、若い世代の受診機会につながっている。保健事業の場を通じて、一次予防や検診の必要性を啓発し、がん検診への関心を高めることにつながっている。</p>
<p><b>母子保健事業(再掲)【健康未来こども課】</b></p> <p>うぶごえ教室、妊婦・乳幼児健診、妊産婦・新生児訪問指導、子どもの健康づくり連絡会、学童思秋期保健連絡会</p>	<p>妊婦健診は医療機関委託、乳幼児健診は集団健診と一部医療機関委託で実施。うぶごえ教室の参加者は昨年度より増加した。生活習慣確立や思春期保健対策について、関係機関と連携して推進を図った。</p>	<p>乳幼児健診は高い受診率を維持し、経過観察を要する対象者には事後指導を実施できた。生活習慣確立のために関係機関と連携して「食べて・動いて・よく寝よう」の推進を図ることができた。</p>
<p><b>歯科保健事業【健康未来こども課】</b></p> <p>幼児歯科検診、妊婦歯科検診、成人歯科検診、むし歯予防教室、歯科保健連絡会</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、むし歯予防教室は開催を中止した。歯とお口の健康アンケートを実施し、生活リズムや口腔ケア行動の把握につとめ、データを生かした啓発を行なった。受診票交付時や未受診者等への受診勧奨により妊婦・成人歯科検診受診率は昨年度より増加した。</p>	<p>新たに妊婦・成人歯科検診事業を開始し、生涯にわたる歯科保健対策の充実につながった。</p>
<p><b>食育推進事業(再掲)【健康未来こども課】</b></p> <p>食生活改善運動の推進、食生活改善推進委員の育成</p>	<p>望ましい食習慣の定着を目標に、食生活改善推進委員と協働して親子や高校生への啓発事業等を実施した。高齢者へはフレイル予防について啓発し、理解を深めることができた。</p>	<p>小学生や高校生などの若い世代から高齢者まで、幅広い世代へ向けて望ましい食事についての普及啓発を実施することができた。自主的に自ら活動する食生活推進委員の活動意義は大きく、食育の推進に貢献している。</p>

### 3. 評価指標やその他成果等

#### (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
特定健康診査実施率	%	57.1	57.6	57.9	57.7	57.7	60.8	65.0	93.5	健康未来こども課
特定保健指導実施率	%	35.9	33.4	27.2	28.3	35.9	29.4	45.0	65.3	健康未来こども課
がん検診受診率(胃がん)	%	26.3	25.0	25.5	23.9	24.8	22.9	28.0	81.8	健康未来こども課
がん検診受診率(大腸がん)	%	32.1	32.7	34.7	33.8	35.9	33.1	33.0	100.3	健康未来こども課
がん検診受診率(肺がん)	%	49.3	49.1	49.4	47.2	50.2	42.8	55.0	77.8	健康未来こども課
がん検診受診率(子宮頸がん)	%	35.3	36.2	36.1	36.9	37.4	37.3	37.0	100.8	健康未来こども課
がん検診受診率(乳がん)	%	42.2	44.3	43.3	42.1	44.1	42.7	44.0	97.0	健康未来こども課

#### (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p><b>【健康未来こども課】</b></p> <p>・骨髄等移植ドナーに対し、通院・入院費用の2万円/日(最大14万円)を助成することとして骨髄等移植ドナー支援事業を開始した。今後は周知強化を図る必要がある。</p>
--

#### (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p><b>【健康未来こども課】</b></p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響が顕著で、各種健(検)診では、受診者の密を回避するための会場集約により、受診者負担の増加や受診控えが見受けられる。</p>
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	15
総合計画ページ	P. 64		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	2	健康長寿社会の推進
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 健康の保持増進対策の推進</li> <li>■ 地域支援事業の推進</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>健康増進事業【健康未来こども課】</b> 健康診査、がん検診、健康手帳交付、健康教育、健康相談、訪問指導、人間ドック	人間ドックについては、国保加入者以外の方への助成についても2年に1回から毎年に変更するとともに、年間を通して受診できるように仕組みを変更した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により受診者の減少傾向が見られた。	特定健診において日曜検診やレディース検診の機会を充実させ、受けやすい体制づくりを図った。また、検診未受診者への受診勧奨や検診後の訪問指導など、きめ細かに行ったことにより、健康診査実施率は全国での高順位を達成した。
<b>予防接種事業【健康未来こども課】</b> インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌	対象者への個別通知や広報誌により周知を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大によるインフルエンザ予防接種の希望が増える可能性を考慮し、65歳以上の方が優先接種できるように接種開始日の調整を行った。	対象者への個別通知や広報誌での周知と新型コロナウイルス感染症拡大による感染症への関心の高まりから、インフルエンザ予防の接種率が向上した。
<b>介護予防・日常生活支援総合事業【福祉課】</b> 一般介護予防事業、介護予防・生活支援サービス事業	一般介護予防事業として、介護予防普及啓発事業を実施 ・各種介護予防講座 203回 延参加者2,646人 要支援認定者及び事業対象者を対象に介護予防・生活支援サービス、住民主体による支援、専門職等による短期集中予防などを実施 ・体しやつき教室 44回 利用実人数34人 ・アクアチャレンジ教室 22回 利用実人数11人 ・口腔機能向上事業 利用実人数11人 ・住民主体によるサービス 利用実人数 9人など	現在、介護認定率が県内20市の中で最も低くなっている(R3.3.31現在 認定率15.7%)。介護が必要な状態になる前からの介護予防事業や各種普及啓発事業の実施など、長年の介護予防の取組の成果の表れであるものと考えられる。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
特定健康診査受診率(75歳以上)	%	16.1	18.9	20.5	21.7	24.3	21.0	25%以上	—	健康未来こども課
インフルエンザ予防接種率(65歳以上)	%	55.1	54.1	50.6	52.0	52.1	63.1	67%以上	—	健康未来こども課
高齢者用肺炎球菌予防接種率(65歳)	%	52.2	46.9	48.5	45.1	43.0	50.3	67%以上	—	健康未来こども課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	16
総合計画ページ	P. 65		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	3	心の健康づくりの推進
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自殺予防対策の推進</li> <li>■ 精神保健対策の充実</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>自殺対策強化事業【健康未来こども課】</b>  こころの健康づくり連絡会、地域見守り体制の推進、相談窓口の周知	ひきこもりへの理解と支援に向けた啓発のため、心の健康講演会を開催した。家族のつどいの継続により、家族会の例会も軌道に乗り、家族支援の充実は図られている。地域見守り体制を推進していくためのゲートキーパー養成講座と心健やか講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	いのちとこころの支援連絡会・精神障がい地域包括ケア連絡会を年3回開催し、関係者の連携強化が図られた。自殺予防のためにひきこもり対策を推進し、家族支援が充実した。
<b>精神保健事業【健康未来こども課】</b>  精神保健福祉講座、精神保健福祉相談会、訪問指導	精神保健福祉相談は4回開催(実7人・延8人)、相談日以外の相談としての面談は延19件、電話は延158件、訪問活動としては訪問件数(保健師実施分)実187件(延488件)であった。	疾病別では、気分障害、ストレス関連障害が増加傾向にある。精神障がい地域包括ケア体制を整備していくことが、社会的ストレスを軽減し安心して暮らせる地域づくりにつながる。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H25年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
ストレスを感じる人の割合	%	73.0	-	94.2	-	-	-	65%以下	-	健康未来こども課
各種相談会を知っている人の割合	%	31.4	-	32.4	-	-	-	50%以上	-	健康未来こども課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【健康未来こども課】</b> ・ひきこもり支援に関する任意団体の立ち上げにより、今後の対策拡大が期待される。
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【健康未来こども課】</b> ・新型コロナウイルス感染症に伴う社会状況の変化によるストレスの増大に対応するため、こころの健康づくりの一層の取り組み強化が必要であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業実施に支障が生じている。
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	17
総合計画ページ	P. 66		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	3	医療体制の充実
施策	1	地域医療体制の充実
施策の基本方針		■ 地域医療体制の充実 ■ 在宅医療・介護連携の推進 ■ 感染症予防対策の推進 ■ 夜間・休日診療の確保

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>救急医療専用病床運営事業【健康未来こども課】</b> 救急医療専用病床を保有する病院への運営支援	救急医療専用病床を6床確保、その運営費を補助金として交付。救急医療による入院に対応した。	救急に対する処置ができる専用病床の存在により、市民の安心した生活を確保することができた。
<b>小児医療専用病床運営事業【健康未来こども課】</b> 小児医療専用病床を保有する病院への運営支援	小児医療専用病床を7床確保、その運営費を補助金として交付。小児医療による入院に対応した。	小児医療に対する処置ができる専用病床の存在により、市民の安心した生活を確保することができた。
<b>包括的支援事業【福祉課】</b> 在宅医療連携協議会、多職種連携研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療介護連携協議会(2回)、多職種連携研修会(1回)を開催。関係者の顔が見える関係をつくり、連携体制の強化を図った。</li> <li>在宅医療に関する実態把握の実施 調査延人数(本人及び家族) 1,409人</li> <li>在宅医療・介護連携相談支援業務委託相談件数 20件</li> <li>新型コロナウイルス感染防止拡大の観点から、医療フォーラムの開催や入退院支援の取組などが実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療及び介護の多職種が連携し、在宅医療と介護の現状と課題の抽出、解決策等を協議した。</li> <li>多職種が合同で参加する研修会では、グループワークを取り入れ、在宅医療介護の人材育成や顔の見える関係づくりとして成果があり、連携体制の強化に繋がった。</li> <li>H30年度から、在宅医療・介護連携相談支援業務を小千谷総合病院に委託し、医療機関とケアマネジャーや介護保険事業所等の関係者との連携を図った。</li> </ul>
<b>感染症予防事業【健康未来こども課】</b> 予防接種、結核検診	予防接種率の向上を目指し、保健事業・訪問活動の中で接種勧奨を行った。また、対象者に個別勧奨の手紙を発送した。結核検診は胸部レントゲン検査として肺がん検診と同日実施し、結核が1件発見された。	予防接種は接種時期を迎える対象者に個別勧奨の通知により周知することで、全体的に県平均よりも高い接種率につなげることができた。
<b>小児救急医療事業【健康未来こども課】</b> 中越子ども急患センターの運営支援	小児救急診療運営のための経費を負担金として支出。市内小児の急患に対して重症化防止につながった。	小児救急に対応する施設として、救急患者やその家族にとって重要な役割を果たした。
<b>休日夜間救急医療運営事業【健康未来こども課】</b> 休日・夜間急患診療所の運営支援	休日・夜間の救急診療運営のための経費を負担金として支出。市内の急患に対して重症化防止につながった。	平日夜間や休日に対応する施設として、救急患者やその家族にとって重要な役割を果たした。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--



【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	18
総合計画ページ	P. 68		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	3	医療体制の充実
施策	2	医療基盤の充実
施策の基本方針	<p>■ 厚生連小千谷総合病院への支援及び連携</p>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>病院統合支援事業【健康未来こども課】</b>  施設整備費及び運営費助成	厚生連小千谷総合病院の運営費(医師、看護師及び医療技術者の確保)補助金を交付(7千万円)。	開設以来、25診療科を維持し、地域の基幹病院として地域医療を支えることにつながった。
<b>医療機関連携事業【健康未来こども課】</b>  保健福祉事業の推進に向けた行政と市内医療機関等との意見交換	病院関係者と保健事業に係る協議を随時開催し、新規事業の検討や既存事業の充実及び検診事業等について見直しを図った。	フレイル予防のための運動器科学講座を軸とした多職種連携会議の開催・継続など、連携体制の強化を図った。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	19
総合計画ページ	P. 69		

1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	1	障がい者福祉の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 障がい者計画及び障がい福祉計画の策定</li> <li>■ バリアフリーの整備推進</li> <li>■ 日常生活と社会生活の総合的な支援</li> <li>■ 障がい者就労施設等からの物品等の調達方針の推進</li> <li>■ 就労支援体制の充実</li> <li>■ 情報提供の充実</li> </ul>

2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>障がい者計画・障がい福祉計画策定事業【福祉課】</b>  障がい者の自立支援の推進に向けた計画策定	小千谷市地域自立支援協議会で意見聴取を行うとともに、関係機関と連携し、第6期小千谷市障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を策定した。また、R3年度に策定する障がい者計画の基礎資料とするために、アンケート調査を実施した。(対象者:2,302件 有効回収率67.1%)	小千谷市地域自立支援協議会から、障がい者計画・障がい福祉計画の進捗状況の点検・評価を受け、事業の推進を図った。
<b>障害者自立支援給付事業【福祉課】</b>  居宅介護、生活介護、就労移行支援、施設入所支援	各種サービスにおいて、サービス利用計画に基づき、適正なサービス提供を行った。  【実績】※実利用者数 ・居宅介護:37人      ・生活介護:81人 ・就労移行支援:13人      ・施設入所支援:44人	支援が必要となる方へ、必要なサービスを提供できるよう、関係事業所と連携し、情報共有に努め、支援体制の充実を図った。
<b>地域生活支援事業【福祉課】</b>  相談支援、日中一時支援、移動支援、日常生活用具給付支援、コミュニケーション支援事業、成年後見制度利用支援	新型コロナウイルス感染拡大防止により、通常の年度に比べて相談実績は減少した。そのような状況の中で、リモートによる面会や、電話での相談など工夫を凝らし、必要な方への相談支援体制を確保した。また、日常生活用具等の事業については、必要となる方への給付を行った。(537件)  ※R2相談実績(前年度との比較) ・市内3事業所 11,983件(△1,437件) ・基幹相談支援センター 1,555件(△469件)	相談支援体制の充実を図れた。相談支援事業所の相談員と連携をとりながら、事業の実施に努め、支援が必要となる方にサービスの提供を行えた。
<b>在宅福祉推進事業【福祉課】</b>  外出支援サービス(タクシー券利用助成など)、住宅改修費補助、通所サービス事業所通所費助成	対象者となる方で、申請のあった方にタクシー券の交付を行った。(409人 利用率55.6%)	サービスが必要となる方が、利用できるよう、サービスガイドブックや、ホームページ、広報おぢやを通じて制度の周知に努めた。

3. 評価指標やその他成果等

(1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

(3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	20
総合計画ページ	P. 71		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	2	生活困窮者への支援
施策の基本方針	■ 包括的支援の実施 ■ 早期支援の実施	■ 創造的支援の実施

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>自立相談支援事業【福祉課】</b> 生活困窮者の実情把握及び個々の支援プラン策定による包括的支援の実施	自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行うとともに、生活困窮者に対する支援のあり方について各分野(弁護士、ハローワーク等)の専門委員で構成される生活困窮者支援調整会議を3回開催し、支援状況について多角的な視点と深い知見による助言・指導をいただいた。	自立相談支援員を配置し、生活困窮者の総合相談窓口として相談支援を行うとともに、専門委員で構成される支援調整会議を定期的に開催し、支援者間の情報の共有及び支援プランへの助言・指導をいただくことができた。
<b>生活保護受給者等就労自立促進事業【福祉課】</b> ハローワークと連携した就労支援	ハローワークとの連携による「生活保護受給者等就労自立促進事業」を実施し、就職の目標者数12人に対し7人が就職した。	ハローワークとの連携による「生活保護受給者等就労自立促進事業」を実施することで、ハローワークとの支援体制を確立し、就労支援を効果的に実施することができた。
<b>住居確保給付金の支給【福祉課】</b> 離職による住居及び就労の確保に向けた支援	コロナ禍による経済の悪化により申請が増加し、延べ11人(実人数6人)に給付金の支給及び就労支援を実施した。申請者6人に対し、2人が就労を果たした。	H24年度以降、経済の緩やかな回復等を要因として支給実績がなかったが、コロナ禍による経済情勢の悪化によりR2年度は申請が増加した。申請者に対し、給付金の支給及び就労支援を実施し、一部は就労を果たした。
<b>就労準備支援事業【福祉課】</b> 就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練の実施	就労準備支援員を配置し、就労に向けた第一歩として、本人のやる気を取り戻すこと及び引き籠り防止のため、農業管理センターを会場に内職作業に取り組んでもらった。延べ300人に対し支援を実施した。	就労準備支援員を配置し、一般就労が難しい者に対し一般就労に向けた準備として支援を実施した。支援の結果、一部は一般就労を果たした。
<b>家計相談支援事業【福祉課】</b> 家計収支に関する課題の評価・分析及び必要な情報提供・助言等の実施	債務問題解決のために家計改善支援員(就労準備支援員と兼務)を配置し、家計の再建支援を行った。延べ14人に対し支援を実施した。	債務問題解決のために家計改善支援員(旧家計相談支援員)を配置し、生活困窮者に対する家計の助言指導を行い、家計の改善を行うことができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【福祉課】</b> ・貧困の連鎖の防止のため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子どもに対し、延べ45回支援を行った結果、進学を果たした。
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	21
総合計画ページ	P. 73		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	3	高齢者福祉の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定</li> <li>■ 生きがい対策の推進</li> <li>■ 生活支援施策の充実</li> <li>■ 就労の場の提供</li> <li>■ 地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業【福祉課】</b> 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための計画策定	R3年度からR5年度を計画期間とする「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定した。 (庁内幹事会4回、検討委員会4回、パブリックコメント実施)	R元年度に生活状況等のニーズ調査を実施。回収率92.2%。この調査結果やその他の調査の結果から課題やニーズを把握し、今後の目標の設定や見込量を推計し、「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定した。
<b>生きがい対策事業【福祉課】</b> 生きがい対応型デイサービス、ふれあいいきいきサロン事業補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の閉じこもり予防、介護予防のための「デイホーム」を地域に委託(10団体 27会場で実施)。</li> <li>・デイホーム利用人数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月5月は休止したことなどから利用人数が減少した。</li> <li>・市内38会場で実施のふれあいいきいきサロン事業への補助。</li> </ul>	デイホームは、地域が主体となった介護予防・健康づくりなどの通いの場、集いの場である。定期的な外出や交流で足腰、頭、口を使うことが閉じこもりを防ぎ、寝たきりや認知症予防に繋がった。計画期間内で開催会場が1ヶ所増となった。
<b>在宅生活支援事業【福祉課】</b> 通院等支援サービス事業、介護手当、高齢者住宅整備費補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り、かつ介護者の精神的及び経済的負担の軽減を図るため各種事業を実施。</li> <li>・通院等支援サービス券支給 287人</li> <li>・介護手当支給 397人</li> <li>・高齢者住宅整備費補助 7件</li> </ul>	高齢者が住み慣れた住宅で安心した生活を送ることができ、かつ、介護者の精神的及び経済的負担の軽減も図った。特に住宅整備補助件数は前期計画期間中、年々増加した。
<b>活動支援事業【福祉課】</b> 老人クラブ活動への補助、敬老会への補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会参加活動や健康づくり事業など各種活動費への補助(市内72の単位老人クラブと市連合会へ)。</li> <li>・敬老会への補助 市内64会場、6,470人分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ活動への補助を行い、生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを支援した。</li> <li>・町内会等が開催する敬老会への補助を行い、いたわり合う地域社会づくりを支援した。</li> </ul>
<b>地域支援事業(包括的支援事業)【福祉課】</b> 地域包括支援センターの運営、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターの運営と認知症施策を推進。相談延件数 1,896件 相談実人数 550人</li> <li>・認知症支援ガイドの作成、認知症カフェの開催などを通じて認知症施策を推進した。</li> <li>・各地域における生活支援サービスの体制整備を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターは職員数をH29年度に3人から4人に、R元年度に5人へと体制強化をし、高齢者の困りごとに関する総合相談支援業務や関係機関との支援ネットワークづくりなどの業務を担い、高齢者やその家族を支えた。</li> <li>・認知症予防と介護の市民講座や認知症徘徊模擬訓練などを通して、認知症になることは身近なことであり、認知症の人とその家族を見守る地域づくりを推進した。</li> <li>・計画期間内に第2層生活支援コーディネーター9人の配置が完了し、各地域における生活支援サービスの体制整備を支援した。</li> </ul>
<b>地域支援事業(任意事業)【福祉課】</b> 家族介護用品支給事業、高齢者見守りサービス事業、成年後見制度利用支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り、かつ介護者の精神的及び経済的負担の軽減を図るため各種事業を実施。</li> <li>・家族介護用品支給 64人</li> <li>・高齢者見守り相談サービス利用 115世帯</li> <li>・成年後見制度市長申立件数 3件</li> <li>・成年後見制度利用支援事業(補助金) 1件</li> </ul>	高齢者が住み慣れた住宅で安心した生活を送ることができ、かつ、介護者の精神的及び経済的負担の軽減も図った。また、身寄りのないひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中で、成年後見制度の利用件数は増加した。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標（前期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
地域包括支援センター設置数(専門職配置基準)	か所	1.0	1.0	1.3	1.3	1.6	1.6	2.0	80.0	福祉課
シルバーワークプラザ利用件数	件	187	227	277	259	374	290	200	145.0	福祉課
シルバーワークプラザ利用人数	人	846	1,038	1,137	1,082	1,320	1,062	1,000	106.2	福祉課
デイホーム事業所数	事業所	10	10	10	10	10	10	11	90.9	福祉課
デイホーム会場数	会場	24	26	26	27	27	27	26	103.8	福祉課
デイホーム利用人数	人	18,555	20,150	19,354	19,943	19,443	15,542	20,000	77.7	福祉課

## (2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

<p><b>【福祉課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイホームに合わせて、介護予防体操・フレイル予防・高齢者の食生活・転倒予防・認知症予防などの介護予防講座を開催することで、健康や介護予防についての学びの場を提供した。</li> <li>・高齢者の通いの場があることは、社会参加を促進し、助け合い・支え合いが生まれ、生活支援につながるとともに見守りにも繋がった。</li> </ul>
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p><b>【福祉課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターについては、2か所設置相当職員数の6人体制を目標として、H29年度に1人、R元年度に1人、増員してきたところである。しかしながら、小千谷市の高齢者人口はR3年をピークに減少することが見込まれたため、しばらくは現状の5人体制とすることとしたもの。</li> </ul>
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	22
総合計画ページ	P. 76		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	1	商業の振興
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開業の支援</li> <li>■ 小千谷産品の開発及びブラッシュアップの支援</li> <li>■ ふるさと納税返礼品での小千谷産品のPR推進と販売拡充</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>開業応援事業【商工振興課】</b> 市内創業に対する初期投資の支援	R2年度における支援件数は3件 ・蕨生地内:美容室 ・平沢地内:テイクアウト飲食サービス店 ・桜町地内:パソコン教室	創業相談については常時対応し、創業塾を開催するなど市内創業への支援を推進したことで、相談件数及び創業・開業件数ともに年々実績を残していることから、引き続き創業・開業に繋げるための相談・支援の継続が必要。
<b>小千谷産品開発事業【商工振興課】</b> 小千谷産品の新規開発、改良に対する支援	R2年度における支援件数は6件 ・商品開発:0件(前年度1件) ・商品改良:6件(前年度3件)	既存商品の改良による活用件数は例年多くあるが、新商品の開発件数が少ない状況にあることから、今後一層の商品開発促進の周知に努めることが必要。 H29:改良1件、H30:開発1件・改良1件、R1:開発1件・改良3件、R2:改良6件
<b>小千谷産品販売PR事業【企画政策課】</b> ふるさと納税返礼品による小千谷産品販売及びPRの拡充	R2ふるさと納税実績:13,440件、535,145千円 寄附者への返礼代及び送料:200,947千円	H28:1,299件、72,275千円 H29:2,657件、163,062千円 H30:12,377件、590,925千円 R1:14,096件、556,622千円 R2:13,440件、535,145千円 返礼品登録数及び提供事業者数が増加しており、小千谷産品のPRと販路拡大に繋げることができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
創業相談件数	件	1	20	10	8	10	17	20	85.0	商工振興課
創業支援・創業(実現)件数(累計)	件	-	6	7	9	14	17	5	340.0	商工振興課
おぢやファンクラブ通信販売年間売上額	千円	20,000	16,663	17,350	14,718	16,200	19,600	25,000	78.4	商工振興課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【企画政策課】</b> ・返礼品提供事業者向けセミナーの実施⇒返礼品のブラッシュアップ <b>【商工振興課】</b> ・創業支援 創業塾(商工会議所共催:参加者12名・前年度6名) ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:4事業所、2回目:5事業所)
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	23
総合計画ページ	P. 78		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	2	中心商店街の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中心商店街の活性化への支援</li> <li>■ 商店街の機能維持</li> <li>■ 新たな商店連携の取り組みへの支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>中心市街地商店街空き店舗活用支援事業【商工振興課】</b>  商店街空き店舗への開業支援	R2年度における支援件数は0件 (前年度支援件数:2件)	創業相談への対応や創業塾の開催など市内創業への支援を強化しているが、中心市街地商店街における創業・開業が伸び悩んでいることから、引き続き商店街における創業・開業に繋げるための相談・支援の継続が必要。 H28:2件、H29:3件、H30:1件、R1:2件、R2:0件
<b>商店街応援事業【商工振興課】</b>  商店街振興組合等が実施する商店街に賑わいを創出する事業の支援	R2年度における支援件数は4件 ・東大通商店街 ・中央通商店街 ・本町商店街 ・平成商店街	多くの商店街が本事業(H30開始)を活用し、賑わいの創出へ繋がれたことから、引き続き商店街の活性化に繋がる支援が必要。 H30:2件、R1:2件、R2:4件

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H24年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
中心商店街の事業所数	店	97	76	指標とした調査が廃止※			100	-	-	商工振興課
中心商店街の年間商品販売額	千円	4,298,000	3,651,000	指標とした調査が廃止※			4,400,000	-	-	商工振興課

※R元年度～商業統計調査廃止(過去5年ごとに実施)

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【商工振興課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街中SNS環境整備事業補助金(5件) ※飲食店におけるSNS発信事業(4件)、イベント事業におけるSNS発信事業(1件)</li> <li>・街中SNS環境整備事業委託料(1件) ※商工会議所においてSNS発信に関するイベント・セミナーの開催</li> </ul>
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【商工振興課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地商店街空き店舗活用支援事業</li> </ul> 各商店街における創業相談件数は数件あるが、取壊しする店舗や貸出す意思の確認が出来ない物件が多くあるため、創業・開業者への仲介が難しい状況にある。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	24
総合計画ページ	P. 79		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	3	基幹産業と伝統産業の強化
施策の基本方針	■ 技術継承のための人材育成支援                      ■ 経営基盤の強化 ■ 販路拡大の推進	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>テクノ小千谷名匠塾支援事業【商工振興課】</b> 技術の継承による人材育成支援	技能検定合格者数:0名(前年度:9名) (名匠塾における累計合格者数:176名)	新型コロナウイルス感染症の影響から、前期講義が中止となり技能検定への受験者が0名となったが、例年多くの合格者を輩出していることから、引き続き支援が必要。 H28:21名、H29:14名、H30:8名、R1:9名、R2:0名
<b>国内・海外販路開拓支援事業【商工振興課】</b> 新技術・新製品のPR、販路拡大を目的とする展示会・見本市の出展支援	R2年度における支援件数は7件 ・海外:0件、国内7件 (前年度支援件数:10件)	本年度に関しては新型コロナウイルス感染症の影響から、支援件数が減少したが例年多くの活用があることから、引き続き支援が必要。 (前期支援成果については、下記の評価指標のとおり)
<b>産学官連携事業【商工振興課】</b> コーディネータの配置による技術相談、企業と大学、研究機関、金融機関等のマッチング、ネットワークの構築支援	R2年度における企業訪問件数は53件 ・オンラインセミナー開催:2回	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチング・ネットワークの構築により、多くの研究開発等の取り組みに繋がっていることから、引き続き支援が必要。 企業訪問件数:H28(73件)、H29(49件)、H30(60件)、R1(36件)、R2(53件)
<b>制度融資事業【商工振興課】</b> 中小企業者の経営安定及び設備等経営基盤の強化促進の支援	市制度融資貸付状況(R3.3末時点):69件 新型コロナウイルス関連保証認定件数 ・セーフティネット保証:300件 ・危機関連保証:129件	円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要。 制度融資貸付状況(3末時点)H28:216件、H29:182件、H30:122件、R1:90件、R2:69件
<b>ものづくり研究・開発支援事業【商工振興課】</b> 公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)採択事業への支援	R2年度における支援件数は2件 (前年度支援件数:2件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られたものであり、引き続き支援が必要。(R元年度より支援) R1:2件、R2:2件
<b>ものづくりチャレンジ事業【商工振興課】</b> 企業と大学・研究機関等が連携して行う研究開発・試作品開発への支援(経済産業省・中小企業庁採択事業)	R2年度における支援件数は3件 (前年度支援件数:3件)	市内企業と大学・研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られたものであり、引き続き支援が必要。(R元年度より支援) R1:3件、R2:3件

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
展示会・見本市等への出展支援件数	件	15	34	24	8	10	7	20	35.0	商工振興課



(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【商工振興課】

・技術継承・人材育成

名匠塾における研修修了者数:948名(H21年度～R2年度)

(3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

【商工振興課】

・販路拡大の推進

産品販路拡大推進事業(首都圏以外における販路開拓活動):新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	25
総合計画ページ	P. 81		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	4	企業立地の推進
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業立地促進事業の充実</li> <li>■ 企業立地の推進</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>企業立地促進事業【商工振興課】</b> 課税免除及び奨励金の交付、用地取得費及び雇用促進への補助金交付、本社機能の移転支援、空き工事等の情報提供	R2年度における支援件数 ・課税免除:6件 ・奨励金:4件	市内企業の事業拡大や市外からの企業誘致を推進するため、引き続き支援が必要。(前期における課税免除件数・奨励金支援件数については、下記の評価指標のとおり)
<b>工業団地造成事業【商工振興課】</b> 新たな工業団地の造成、分譲	企業立地支援チームにより候補地の選定について検討	鴻巣産業団地について、全区画が売却されたことから、次の工業団地造成予定地の選定を進めるため、引き続き市内外の企業における立地動向の情報把握が必要。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
課税免除立地対象事業件数	件	3	6	6	7	9	6	5	120.0	商工振興課
奨励金立地対象事業件数	件	3	6	8	9	7	4	5	80.0	商工振興課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	26
総合計画ページ	P. 82		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	1	農業経営の強化
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 米の販売強化</li> <li>■ 地域特性を活かした複合化・多角化経営の推進</li> <li>■ 農畜産物の高付加価値化の推進</li> <li>■ 地場産農産物の販売の強化</li> <li>■ 意欲ある担い手の育成</li> <li>■ 集落営農などへの支援</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>農林水産業総合振興事業【農林課】</b> 農業生産機械、施設等の整備支援	一定要件を満たした生産者3件の生産機械の導入支援を行った。(トラクター・水稲用コンバイン・蕎麦用コンバイン)	農業者が組織する団体や中山間地域の担い手団体等が実施する機械整備に対して支援することで、地域農業の生産体制整備が図られた。
<b>農業経営基盤強化支援利子助成事業【農林課】</b> 農地や機械購入時の利子助成	農業経営改善計画の達成に必要な長期投資の利子助成を9件行った。	農業経営改善計画の達成に必要な長期資金の利子を助成することで、農業者の生産力維持増進と経営規模拡大が図られた。
<b>アグリビジネス育成支援事業【農林課】</b> 農業資源を活用したビジネスの支援	コロナ禍により、イベント等の関係活動の自粛が目立ったが、農業団体等に対して6次産業化取組み支援等の有益情報の提供を図った。	新規開発品目の数に焦点を当てたが、現実的なものではなかった。今後はアグリビジネス創出の可能性を秘めた農業団体等が育成されるように支援していく必要がある。
<b>担い手育成総合支援事業【農林課】</b> 経営に関する支援	農業者に対して農業経営に関する研修会等の案内を実施した。また、各地域で担い手確保等のための話し合いを支援した。	高齢化の進展などで農業の担い手不足は依然として厳しい状況が続いているが、各種研修会や個別相談会の参加を促したほか、地域農業者同士の話し合いを促進し、農業者の経営に関する支援が図られた。
<b>青年就農給付金事業【農林課】</b> 新規就農者に対する支援	一定要件を満たした次世代を担う認定新規就農者3名の経営支援を行った。	農業経営開始後間もない方に対して最長5年間の資金支援を行うことで、新規就農者の経営の安定が図られた。
<b>機構集積協力金交付金事業【農林課】</b> 農地中間管理機構と連携した農地の集約、集積に対する助成	一定要件を満たし、農地中間管理機構を通じて契約した5件の対象者に対して助成を行った。	機構集積協力金を活用することにより、農地中間管理機構と連携した担い手への農地集積・集約化が図られた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
認定農業者数	人	257	323	321	320	302	298	330	90.3	農林課
主要な園芸作物※の栽培面積	ha	41.5	43.0	40.6	40.8	40.8	40.8	47.0	86.8	農林課
主要な園芸作物※の栽培者数	人	205+1社	215+1社	200+1社	205+1社	205+1社	205+4社	215+1社	-	農林課

※主要な園芸作物: カリフラワー、メロン、すいか、にんじん、ささげ豆、さといも、花卉(かき)、溶液トマト

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【農林課】 ・「人・農地プラン」実質化(農業者が地域で話し合い、農業の将来の在り方などを明確化したもの)
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

【農林課】 ・アグリビジネス育成支援事業/コロナ禍によるイベント等の活動自粛、おぢや食おこし隊の解散(R3.3月末)
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	27
総合計画ページ	P. 85		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	2	農業生産基盤の整備
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ほ場整備</li> <li>■ かんがい排水施設等の整備</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>ほ場整備事業【農林課】</b> 県営ほ場整備事業負担金(川井・上片貝・若栃・山本地区ほか)	上片貝、若栃、山本、塩殿、前島宮島地区において県営事業が実施された。	水田の区画整理整備率はおおむね目標値を達成しており、計画どおりに農業生産基盤の整備が進められた。
<b>かんがい排水事業【農林課】</b> 県営かんがい排水事業負担金	大貝原(水路)、栗山、障子山地区(ため池)において、県営事業が実施された。	老朽化したかんがい排水施設の整備が進められた。
<b>基盤整備促進事業【農林課】</b> 水利施設整備事業補助	R2実施なし	市の補助により土地改良区の老朽化した水利施設の更新が図られた。
<b>土地改良施設維持管理適正化事業【農林課】</b> 土地改良施設の機能回復、整備改善の補助	小千谷土地改良区、信濃川左岸土地改良区に対して補助した。	市の補助により土地改良区の老朽化した土地改良施設の更新が図られた。
<b>多面的機能支払交付金事業【農林課】</b> 資源向上(施設の長寿命化)	1広域協定、4組織の活動に対して補助した。 取組面積136,363a	老朽化した農業用施設の長寿命化が図られた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H25年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
水田の区画整理整備率(30a以上)	%	58.5	58.7	59.0	59.2	59.2	59.9	60.0	99.8	農林課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	28
総合計画ページ	P. 86		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	3	農村の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中山間地域農業の維持</li> <li>■ 農地の多面的機能の維持、活用</li> <li>■ 農用地利用計画の見直し</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>中山間地域等直接支払事業【農林課】</b> 耕作放棄地の拡大抑制に対する補助	6広域集落協定、5個別集落協定の活動に対して補助した。 取組面積1026ha	中山間地域農業の維持が図られた。
<b>多面的機能支払交付金事業(再掲)【農林課】</b> 農地維持活動(共同活動)への支援	1広域協定6組織の活動に対して補助した。 取組面積1968ha	取組面積の目標値までは到達していないが、90%以上取り組んでおり、農地の多面的機能の維持が図られた。
<b>農業振興地域整備計画策定事業【農林課】</b> 農用地区域設定のための農業振興地域整備計画の見直し	中山間地域等直接支払交付金事業、県営農地環境整備事業に取り組む7組織からの申出を受け、36.4haを編入する計画変更を実施した。	基礎調査結果による小千谷農業振興地域整備計画の変更を完了し、農用地利用計画をシステム管理可能となり、土地異動への対応が容易となった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
農地維持活動面積	ha	1,305	1,441	1,742	1,790	1,953	1,968	2,182	90.2	農林課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	29
総合計画ページ	P. 88		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	4	森林の維持
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 森林の維持・保全活動への支援</li> <li>■ 特用林産物生産事業への支援</li> <li>■ 緑化推進活動への支援</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>治山事業【農林課】</b> 荒廃地の復旧・予防、保全対象地の保護	片貝町の土留工、南荷頃の谷止工の補修、西吉谷の集水井洗浄、真人町ほか保育、植栽の実施	地すべりの防止、保安林の保全が行われ、森林の維持保全が図られた。
<b>森林整備地域活動支援事業【農林課】</b> 適切な森林整備活動に対する支援	実施なし	間伐、下刈り等森林整備活動が減ってきており、補助金の支出が無かった。
<b>特用林産物生産支援事業【農林課】</b> きのこ生産事業の品質向上と低コスト化を推進する事業への支援	実施なし	H28年度に低コスト化のための生産設備整備の補助を行った。生産体制の支援によりきのこ生産事業の継続が図られた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【農林課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備活動に対する支援(補助金)の支出が無かった。補助制度はあるが、木材価格の低迷により森林整備を行っても利益が上がらないため、保全活動が減っていると思われる。</li> </ul>
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	30
総合計画ページ	P. 88		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	1	独創性・創造性豊かな産業の育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域複合アグリビジネスの構築</li> <li>■ 起業・第二創業の支援</li> <li>■ 新製品・新技術開発の支援</li> <li>■ 産学金官の連携</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>アグリビジネス育成支援事業(再掲)【農林課】</b> 農業、農村の資源を活用したビジネスの支援	コロナ禍により、イベント等の関係活動の自粛が目立ったが、農業団体等に対して6次産業化取組み支援等の有益情報の提供を図った。	新規開発品目の数に焦点を当てたが、現実的なものではなかった。今後はアグリビジネス創出の可能性を秘めた農業団体等が育成されるように支援していく必要がある。
<b>開業応援事業(再掲)【商工振興課】</b> 市内創業に対する初期投資の支援	R2年度における支援件数は3件 ・稗生地内:美容室 ・平沢地内:テイクアウト飲食サービス店 ・桜町地内:パソコン教室	創業相談については常時対応し、創業塾を開催するなど市内創業への支援を推進したことで、相談件数及び創業・開業件数ともに年々実績を残していることから、引き続き創業・開業に繋げるための相談・支援の継続が必要。
<b>創業相談窓口設置事業【商工振興課】</b> ワンストップ相談窓口の設置による創業支援	・創業相談件数は17件 ・創業塾:年1回開催(参加者数12名)	創業相談については常時対応し、創業塾を開催するなど市内創業への支援を推進したことで、相談件数及び創業件数ともに増加していることから、引き続き潜在的創業希望者に対して、様々な支援を継続することで創業へ繋げることが必要。
<b>ものづくり研究・開発支援事業(再掲)【商工振興課】</b> 公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)採択事業への支援	R2年度における支援件数は2件 (前年度支援件数:2件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られたものであり、引き続き支援が必要。(R元年度より支援)R1:2件、R2:2件
<b>ものづくりチャレンジ事業(再掲)【商工振興課】</b> 企業と大学・研究機関等が連携して行う研究開発・試作品開発への支援(経済産業省・中小企業庁採択事業)	R2年度における支援件数は3件 (前年度支援件数:3件)	市内企業と大学・研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られたものであり、引き続き支援が必要。(R元年度より支援)R1:3件、R2:3件
<b>国内・海外販路開拓支援事業(再掲)【商工振興課】</b> 新技術・新製品のPR、販路拡大を目的とする展示会・見本市の出展支援	R2年度における支援件数は7件 ・海外:0件、国内7件 (前年度支援件数:10件)	本年度に関しては新型コロナウイルス感染症の影響から、支援件数が減少したが例年多くの活用があることから、引き続き支援が必要。H28:34件、H29:24件、H30:8件、R1:10件、R2:7件
<b>産学金官連携事業(再掲)【商工振興課】</b> コーディネータの配置による技術相談、企業と大学、研究機関、金融機関等のマッチング、ネットワークの構築支援	R2年度における企業訪問件数は53件 ・オンラインセミナー開催:2回	産学金官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチング・ネットワークの構築により、多くの研究開発等の取り組みに繋がっていることから、引き続き支援が必要。企業訪問件数:H28(73件)、H29(49件)、H30(60件)、R1(36件)、R2(53件)

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標（前期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
アグリビジネス新規開発品目数(累計)	品目	25	71	71	71	71	71	120(累計)	-	農林課
創業支援(実現)件数(累計)(再掲)	件	-	6	7	9	14	17	5	340.0	商工振興課
ものづくり研究開発支援件数	件	1	2	1	0	5	5	3	166.7	商工振興課

## (2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【農林課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アグリビジネス育成支援事業(再掲)</li> <li>コロナ禍によるイベント等の活動自粛、おぢや食おこし隊の解散(R3.3月末)</li> </ul> <p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大の推進</li> </ul> <p>産品販路拡大推進事業(首都圏以外における販路開拓活動):新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止</p>
--



【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	31
総合計画ページ	P. 90		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	2	錦鯉産業の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 錦鯉の販路拡大の推進</li> <li>■ コイヘルペスウイルス(KHV)病への対策強化と支援</li> <li>■ 錦鯉経営の基盤強化</li> <li>■ 市の魚「錦鯉」PR</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>国際錦鯉幼魚品評会【農林課】</b> 海外の販路拡大に伴う国際錦鯉幼魚品評会への補助	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、R2年度は中止となった。	国際錦鯉幼魚品評会開催への補助を行い、手軽に飼育できる幼魚錦鯉の魅力紹介、錦鯉愛好家の普及拡大、錦鯉を通じた国際交流の場としての位置付けを支援した。
<b>養殖錦鯉魚病検査対策事業【農林課】</b> KHV病の検査費用の補助	R2年度検査数 【輸出】前期37件、36件 【国内】前期15件、20件	KHV病検査の事業者負担軽減により、KHV病への対策強化、まん延防止、出荷・販売促進が図られた。
<b>養鯉業新規就業者支援事業【農林課】</b> 養鯉業の新規就業者に対する補助	R2実施なし	H28年度から3年間サンセットの養鯉業新規就業支援事業補助金を創設し、周知を図ったが、活用は無かった。
<b>市の魚「錦鯉」PR事業【農林課】</b> 小千谷市錦鯉漁業組合に対する補助	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、海外からのバイヤーが来日できないことからインターネットを活用した販路開拓に対する取組に補助を実施した。	海外2か国への商談会参加による新たな海外市場の販路開拓。錦鯉PR水槽の開発による錦鯉水槽飼育による国内需要の喚起を図った。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
市内錦鯉海外輸出国数	か国	23	26	25	27	22	21	25	84.0	農林課
市内錦鯉海外輸出状況(金額)	千円	377,000	689,000	745,000	695,000	509,400	643,000	500,000	128.6	農林課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	32
総合計画ページ	P. 92		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	1	就業機会の拡充と人材育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若者等の就業機会の確保</li> <li>■ 再就職希望者への支援</li> <li>■ 中小企業の人材育成</li> <li>■ 支援制度等の周知</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>キャリア教育推進事業【商工振興課】</b> 小・中・高校生を対象とした勤労観・職業観育成のための企業見学、職場体験の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西高オンライン企業ガイダンス開催:1回</li> <li>・高校生対象の企業研究フェス開催:1回</li> <li>・就労支援アプリの運用</li> <li>・企業ガイドブックの配布</li> <li>・学生のものづくり活動への支援</li> </ul>	各世代の学生に対し、市内企業ガイドブックの配布や企業を知るガイダンス開催など実施したことで、学生におけるキャリア教育の推進が図られ、市内高等学校における地元就職率も下記の評価指標のとおり増加している。
<b>U・Iターン就職推進事業【商工振興課】</b> U・Iターン就職を希望する大学生・専門学校生などを対象とした就職セミナー、地元就職を促進する事業の実施、支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業見学バスツアー開催:2回</li> <li>・オンライン就職ガイダンス開催:3回</li> <li>・企業向け就活対応セミナー開催:3回</li> <li>・長岡定住自立圏事業:2回 (インターンシップガイダンス・就職ガイダンス)</li> </ul>	若者就労支援組織「おちや・夢・ミライ応援団」を組織し、若年層における地元就職の支援体制が構築され、様々な就労支援事業を実施したことで、下記の評価指標のとおり市内高校生の地元就職率及びインターンシップ参加者数の増加に繋がった。引き続き若者のU/Iターン就職を推進するべく支援が必要。
<b>青年就農給付金事業(再掲)【農林課】</b> 新規就農者に対する支援	一定要件を満たした次世代を担う認定新規就農者3名の経営支援を行った。	農業経営開始後間もない方に対して最長5年間の資金支援を行うことで、新規就農者の経営の安定が図られた。
<b>養鯉業新規就業者支援事業(再掲)【農林課】</b> 養鯉業の新規就業者に対する補助	R2実施なし	H28年度から3年間サンセットの養鯉業新規就業支援事業補助金を創設し、周知を図ったが、活用は無かった。
<b>中小企業人材育成事業【商工振興課】</b> 中小企業大学校三条校、公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)が実施する研修への参加支援	研修受講者数:9名(R元年:32名)	前年度より減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によるもので、例年は35名程度が活用していることから、引き続き中小企業における人材育成支援が必要。(前期支援成果については、下記の評価指標のとおり)
<b>地域しごと・創業支援事業【商工振興課】</b> 技術継承を含む人材育成に取り組む事業所、創業後間もない事業所に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノ小千谷名匠塾支援事業</li> <li>・中小企業人材育成事業</li> <li>・経営相談及び各種支援事業の情報提供</li> </ul>	企業における人材育成及び創業支援について、様々な補助事業や相談対応に取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、適切な支援を実施。技能検定合格者数(H28:21名、H29:14名、H30:8名、R1:9名、R2:0名)

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
市内高等学校新卒者の地元就職割合	%	44	31	40	35	32	42	47	89.4	商工振興課
インターンシップ実施支援者数	人	39	46	55	48	57	17	55	30.9	商工振興課
中小企業人材育成研修支援者数	人	38	39	35	41	32	9	55	16.4	商工振興課
新規就農者数(累計)	人	3	7	13	15	27	31	13	238.5	農林課
新規養鯉就業者数(累計)	人	-	0	0	0	0	0	5	0.0	農林課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

## 【商工振興課】

- ・新潟工科大学との包括連携協定締結(学生の就労支援)
- ・長岡地域定住自立圏における雇用促進共同事業の開催:3回
- ・小千谷名匠塾支援事業(技能検定合格者数:累計176名、研修修了者数:累計948名)
- ・長岡地域若者サポートステーションにおける若者の相談件数:24件

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

## 【農林課】

- ・養鯉業新規就業支援事業

養鯉業においては、その性格上大きなリスクを伴うこともあり、また労働市場における人手不足も相まって新規就業者数はゼロとなった。

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	33
総合計画ページ	P. 94		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	2	労働環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワーク・ライフ・バランスの推進</li> <li>■ 各種支援事業の周知</li> <li>■ 勤労青少年の活動支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
ワーク・ライフ・バランス啓発事業【商工振興課】 労働関係支援制度の周知、労働相談窓口などの紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフ・バランス広報(ホームページ及び広報おぢやへの掲載)</li> <li>・各種支援事業の広報:20回</li> <li>・企業訪問件数:26件</li> </ul>	ホームページや広報誌への掲載だけでなく、企業訪問による周知強化を図っており、更なる訪問件数の増加を図り広く周知に努めたい。企業訪問周知件数(H28:3件、H29:2件、H30:15件、R1:24件、R2:26件)
労働相談窓口との連携【商工振興課】 ハローワークなどが実施する各種支援事業の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援事業の広報:20回</li> <li>・企業訪問件数:26件</li> </ul>	ホームページや広報誌への掲載だけでなく、企業訪問による周知強化を図っており、更なる訪問件数の増加を図り広く周知に努めたい。企業訪問周知件数(H28:3件、H29:2件、H30:15件、R1:24件、R2:26件)
勤労青少年への活動支援(再掲)【生涯学習課】 趣味・教養・キャリア形成等の講座開設・運営、自主活動支援	講座・教室延べ90回開催、利用者協議会によるイルミネーションイベントの開催	講座受講生のアンケート結果をもとに、講座の新設・コース増設を行い、新規受講生やリピーターを獲得した。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
勤労青少年対象の延べ講座・教室開催数(再掲)	回	89	93	82	96	90	90	90	100.0	生涯学習課
勤労青少年対象の延べ参加人数(再掲)	人	1,294	874	812	882	923	771	1,400	55.1	生涯学習課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用者協議会のおぢやまつりへの参加及びホットプラザ祭の開催を中止とした。(R2年度)(勤労青少年ホーム)</li> </ul>
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	34
総合計画ページ	P. 96		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	1	中心市街地の活性化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 賑わいを創出する拠点施設の整備</li> <li>■ 集約型都市構造の形成</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>立地適正化計画策定事業【建設課】</b> 都市機能や居住の誘導により、コンパクトなまちづくりを進めるための計画策定	災害ハザードエリアの除外など居住誘導区域及び都市機能誘導区域の変更、都市のスポンジ化対策の追加	H28年度に計画策定済、今後は国の指導に基づき防災指針について検討予定

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【建設課】</b> ・中心市街地の旧小千谷総合病院跡地に、「賑わい・交流・憩いの創出」をコンセプトとした拠点施設の図書館等複合施設を整備予定。R6年度の供用開始に向け、R2年度に官民連携支援業務、設計業務を締結し、市民協働による運営検討と基本設計に着手した。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	35
総合計画ページ	P. 97		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	2	公共交通の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バスなどの利便性向上と利用促進</li> <li>■ 高速バスの利便性向上と利用促進</li> <li>■ 高齢化への対応</li> <li>■ 鉄道の利便性向上</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>生活交通確保対策補助事業【観光交流課】</b> 過疎地域路線バス、廃止路線代替バス、市内シャトルバスへの補助	市内を運行する10のバス路線のうち8路線に対する補助実施により生活交通を確保した。	補助実施による市内生活交通の維持確保をした。
<b>コミュニティバス等運行事業【観光交流課】</b> コミュニティバス及び乗合タクシー運行費助成	乗合タクシーの効率的な運行方法の導入をした。(乗車予約人員が4人以下となった場合に普通車で運行)	乗合タクシーの更なる効率的な運行方法を検討した。また、コミュニティバスの運行拡大を検討した。
<b>拠点駐車場等整備事業【観光交流課】</b> JR小千谷駅、小千谷インターチェンジ周辺の公共駐車場等整備	—	小千谷インターチェンジ駐車場整備による高速バス利用者の利便性向上を図った。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
市内路線バス運行路線数	路線	10	10	11	11	10	10	10	100.0	観光交流課
コミュニティバス運行路線数	路線	1	1	1	1	1	1	1	100.0	観光交流課
乗合タクシー運行路線数	路線	2	2	2	2	2	2	3	66.7	観光交流課
生活交通(バス・乗合タクシー)運行路線のうち小千谷駅停車路線数	路線	11	11	11	13	12	12	11	109.1	観光交流課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【観光交流課】</b> ・小千谷インターチェンジ駐車場整備による高速バス利用促進(R2年度平均駐車台数:7/39台) ・公共交通マップ更新
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・コミュニティバス等運行事業 地域の実情を踏まえたコミュニティバスの運行拡大や乗合タクシーの更なる効率的な運行方法を検討していくことが必要である。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	36
総合計画ページ	P. 99		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	3	居住環境の向上
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公園の適切な管理</li> <li>■ 防災公園の整備</li> <li>■ 優良宅地の供給と住宅取得支援</li> <li>■ 公営住宅の施設整備</li> <li>■ 公営住宅ストック数の最適化</li> <li>■ 空き家等対策の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>防災公園整備事業【危機管理課】</b> 防災公園の整備	仮設住宅建設用地を有する防災公園の面的な整備はほぼ完了した。	H24年度から継続していた公園整備は、面的な整備が進捗し(R3年度からの供用開始により)、避難場所や仮設住宅建設用地の確保により、地域防災力の向上に繋がった。
<b>優良宅地開発事業【建設課】</b> 優良宅地開発整備補助	・開発協議段階で事業者への制度周知	・制度利用条件と事業者の開発計画内容が合致せず、制度利用に至らなかった。
<b>定住促進事業【建設課】</b> 転入者、若者への住宅取得補助、転入者定住化への家賃補助	・転入者、子育て世代への住宅取得補助金申請数78件 ・転入者定住化への家賃補助金はR元年度申請分をもって事業終了	・住宅取得補助申請者数は堅調に推移し、定住者の確保に繋がっている。 ・家賃補助については、定住化の目安となる住宅を取得した件数は、補助件数601件に対して51件と割合で10%に満たなかった。
<b>公営住宅施設整備事業【建設課】</b> 外壁・設備更新、駐車場整備、消雪施設整備、老朽住宅の整理	・日吉団地住宅エレベーター設置 ・木津団地住宅解体4棟	公営住宅長寿命化計画に則り整備を実施した。
<b>空き家等対策事業【市民生活課】</b> 空き家等実態調査の実施	積雪により緊急性及び危険性の高まった1件について実態調査を実施。特定空家等に認定し、今後の対応について検討。	H30年度に小千谷市空家等対策計画を策定し、空家等対策を推進した。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
若者マイホーム取得補助件数(累計)※1	件	0	88	131	175	231	309	120	257.5	建設課
転入者住宅取得補助件数/年 ※1	件	12	20	17	22	24	23	15	153.3	建設課
優良宅地整備区画数(累計)	区画	0	0	15	15	15	15	50	30.0	建設課
転入者家賃補助件数/年 ※2	件	145	185	189	147	62	-	150	-	建設課

※1: R2年度～定住促進マイホーム取得補助事業に統合

※2: R元年度申請分をもって事業終了

## (2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

## 【建設課】

## ・優良宅地開発事業

近年の開発事業傾向に合致するよう制度利用条件等を見直し、次年度以降の新たな制度導入について検討した。

## 【市民生活課】

・H30年12月に策定した「小千谷市空家等対策計画」等を下に進めた。

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

## 【危機管理課】

・工事施工中の安全確保のため、付近の関連工事とのスケジュール調整により、竣工時期がR3年度に変更となった。（防災公園）

## 【建設課】

## ・優良宅地開発事業

コロナ禍における長引く景気の低迷もあり、民間開発が減少する中、制度利用条件と開発内容、スケジュール等の調整が困難であった。

## 【市民生活課】

・事業実施及び計画推進のための人材及び時間の不足。建物所有者の管理不全。



【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	37
総合計画ページ	P. 101		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	1	道路網の形成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市道の整備</li> <li>■ 国・県道の整備促進</li> <li>■ 厚生連小千谷総合病院周辺道路の整備</li> <li>■ 道路構造物の適切な維持管理</li> <li>■ 架橋整備の促進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>道路整備事業【建設課】</b> 市道の新設、改良	町内要望箇所での改良及び交付金を活用し、通学路の交通安全対策事業を実施した。	町内要望に基づき、緊急性などを考慮しつつ、交付金を有効に活用し、計画的に整備を進めることができた。
<b>道路舗装修繕事業【建設課】</b> 舗装路面の劣化が著しい市道の修繕	(他)二ノ宮油新田線を始め、舗装の劣化が著しい路線の修繕を実施した。	道路舗装修繕計画に基づき、劣化の著しい路線の修繕を実施することができた。
<b>橋りょう長寿命化修繕事業【建設課】</b> 市道橋の定期的な点検と修繕による長寿命化	点検箇所 37橋(市管理の橋梁179橋のうち) 修繕箇所 3橋(大原橋(昭和坂線)、猿田彦橋(川岸船岡外廻り線)及び十二平橋(十二平5号線)/河川管理者及び地元町内会との協議に不測の日数を要したためR元年度から繰越したものの。	点検区分(H28～R2延べ数) 標準点検(橋長15m以上)29橋 小規模点検(橋長2m以上15m未満)172橋 健全度判定区分(国の判定区分) 標準点検Ⅲ判定(早期措置段階)4橋 Ⅱ判定(予防保全段階)15橋 Ⅰ判定(健全)10橋 小規模点検Ⅲ判定11橋 Ⅱ判定117橋 Ⅰ判定44橋
<b>道路照明更新事業【建設課】</b> 支柱などの劣化が著しい道路照明の更新とLED化	不具合が発生した道路照明がなかったため、更新を実施しなかった。	不具合が発生した道路照明を中心にLED化を進めており、期間内で目標値を大きく上回る更新ができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
市道橋点検件数(累計) ※平成27年度開始事業	橋	-	90	160	167	167	177	167	106.0	建設課
道路照明LED化件数(累計) ※平成27年度開始事業	基	-	11	27	33	35	35	18	194.4	建設課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【建設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市管理橋179橋について、H27年度から実施している近接目視による橋梁点検の結果を踏まえ、H23年3月に策定した小千谷市橋梁長寿命化修繕計画(計画期間:H23年度からR2年度)の見直しを実施し、維持補修及び点検時期や予算の平準化を含め橋梁長寿命化修繕計画(計画期間:R3年度からR13年度)を策定した。</li> <li>・厚生連小千谷総合病院周辺の都市計画道路の整備進捗(H27～R3、県事業、本町小栗田線)</li> </ul>
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	38
総合計画ページ	P. 103		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	2	自然と調和した河川の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一級河川の整備促進</li> <li>■ 準用河川及び普通河川の整備</li> <li>■ 河川周辺の環境美化活動に対する支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>一級河川整備促進【建設課】</b> 事業概要 信濃川や表沢川などの整備事業の促進、 茶郷川河川整備計画策定の促進	表沢川については、放水路区間が完成し河道本体の改修に着手した。茶郷川については、河川整備計画策定に向け、治水協議会、地権者や県をはじめとした関係者との協議を継続的に実施した。	表沢川については、概ね計画どおり進捗している。茶郷川については、引き続き県との協議や地権者の合意形成に努める。
<b>河川整備事業【建設課】</b> 準用河川、普通河川の洪水危険箇所などの整備	洪水危険箇所の断面確保、崩壊危険箇所の護岸整備を実施した。	町内要望や緊急性を考慮し、準用河川、普通河川の整備を進めることができた。しかし、近年、異常気象により洪水の発生頻度も増加傾向にあることから、引き続き治水を進めていく。
<b>環境美化活動支援事業【建設課】</b> 河川環境の保全や美化活動に自主的に取り組む団体に対する支援	うるおいの郷土はぐくみ事業に対する協力を行い、茶郷川環境整備協議会を支援した。	うるおいの郷土はぐくみ事業について、当初は対象が2団体であったが、現在は1団体となっている。今後も該当する団体があれば、支援していきたい。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
河川整備箇所(準用河川)(累計)	か所	0	1	2	3	3	4	14	28.6	建設課
河川整備箇所(普通河川)／年	か所	3	6	15	12	9	7	3	233.3	建設課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【建設課】</b> ・表沢川:放水路区間の工事が竣工した。河道本体工事の竣工に向け関係機関、関係者との協議を実施した。 ・茶郷川:県をはじめとした関係機関との協議を実施した。また、治水協議会では、会報などを通じて市民等へ河川整備の必要性を伝えた。
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【建設課】</b> ・茶郷川:河川整備に対する関係者の合意形成
---------------------------------------

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	39
総合計画ページ	P. 105		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	3	都市ガスの安定供給
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市ガス需要の拡大</li> <li>■ 需要家サービスの向上</li> <li>■ 安定供給の確保と保安対策の強化</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>ガス需要の拡大【ガス水道局】</b> 需要拡大に向けた一層のPR活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に、チラシによるガス機器の特別価格での販売を小千谷管工事協同組合協力のもと実施した。</li> <li>・消費者目線での情報発信を行うため、ガス乾燥機のモニター募集を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス展を開催(R2年度はチラシによる特売)し、ガス事業のPRと機器の導入・更新による需要拡大を推進した。</li> <li>・消費者目線での情報発信を行うため、ガス乾燥機のモニター募集を実施した。</li> </ul>
<b>需要家サービス向上【ガス水道局】</b> 顧客ニーズに即応できる体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納付書払の需要家の利便性向上を図るため、4月よりスマートフォンアプリを利用した料金の支払サービスを開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じたガス使用の提案を行い、当市に進出する企業に都市ガスを採用していただいた。</li> <li>・納付書払の需要家の利便性向上を図るため、スマートフォンアプリを利用した料金の支払サービスを開始した。</li> </ul>
<b>ガス供給施設整備事業【ガス水道局】</b> 経年本支管布設替、ガスホルダー開放検査、需要家保安対策(老朽内管更新促進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・L=503mの経年本支管布設替を実施</li> <li>・需要家工事等の工事により、24本の老朽内管を削減した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間内に3,326mの経年本支管布設替を実施した。</li> <li>・H29年度からR元年度の3年間で2基のガスホルダー開放検査を実施した。</li> <li>・計画期間内に293本の老朽内管を削減した。</li> </ul>

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
ガス管の耐震化率	%	42.6	44.2	44.9	45.3	45.8	46.3	47.9	96.7	ガス水道局

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【ガス水道局】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス管の耐震化率について、R2年度の目標値は達成できなかった。耐震化率はガス管の延長を指標とするが、工事単価の上昇により計画上の耐震化延長と実績上の耐震化延長に誤差が見られたため、後期計画においては前期計画の実績に即した数値に目標値を設定した。</li> </ul>
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	40
総合計画ページ	P. 106		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	4	上水道の安定供給
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安定取水の確保</li> <li>■ 「安全でおいしい水」の安定供給</li> <li>■ 浄水施設の更新</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
上水道安定水利権確保【ガス水道局】 信濃川からの安定水利権確保	水利権に基づく適正な取水に努めた。	R元年10月16日付国北整水河第137号許可により、水利権を更新、R11年3月31日までの安定水利権を確保した。
上水道施設整備事業【ガス水道局】 給水管布設、経年管布設替	安定供給の確保と保安対策の強化、地震などの災害時の供給確保を図るため、L=978mの水道管布設替・新設等を実施した。	H30年度に前期基本計画における目標値を2年前倒しで達成した。
小千谷浄水場更新事業【ガス水道局】 小千谷浄水場の更新	車庫棟整備等の機能強化工事及び旧浄水場撤去工事を実施した。	H31年4月より新浄水場の供用を開始した。隣接する工業用水道浄水場との施設の共同利用により、計画一日最大給水量の95%に相当する17,100m <sup>3</sup> /日の給水が可能となった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
水道本支管の耐震化率	%	19.4	20.0	20.4	20.7	21.3	21.5	20.5	104.9	ガス水道局

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【ガス水道局】</p> <p>・R元年度、山谷地区への配水を北部浄水場配水区域から小千谷浄水場配水区域に変更する北部配水区域変更事業を実施し、北部配水区域への安定給水を実現した。</p>
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	41
総合計画ページ	P. 107		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	5	下水道施設の維持管理の推進
施策の基本方針	■ 公共下水道の水洗化率向上 ■ 合併処理浄化槽整備の普及促進 ■ 農業集落排水の水洗化率向上 ■ 施設維持管理の充実	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>流域下水道事業【ガス水道局】</b> 流域下水道建設事業負担金	新潟県流域下水道建設計画に基づく建設費について、当市分を負担した。	県が実施する流域下水道建設事業の建設費について当市分を負担することで、他団体と共同利用する施設・整備の改築更新・耐震化を実施した。
<b>公共下水道整備事業【ガス水道局】</b> 汚水管渠布設工事、汚水管渠補修工事、公共下水道接続事業(鴻巣地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発行為などにより、下水道管渠の整備が必要となった箇所等に布設工事を実施した。</li> <li>管渠内カメラ調査の結果損傷が判明した管渠について更生工事を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管渠の整備は完了しており、必要に応じて布設工事及び補修工事を実施した。</li> <li>農業集落排水鴻巣地区を公共下水道に接続し、施設の更新費用及び維持管理費の節減を実現した。</li> </ul>
<b>農業集落排水整備事業【ガス水道局】</b> 汚水管渠布設工事、汚水管渠補修工事	新たな汚水管の布設工事は実施しなかった。	管渠の整備は完了しており、必要に応じて補修工事を実施した。
<b>下水道施設長寿命化計画策定事業【ガス水道局】</b> 長寿命化計画策定、経年管実態調査	H29年度作成のストックマネジメント計画に基づく腐食環境下における幹線管渠等の点検を実施し、管渠の劣化状況の把握に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の最適な維持管理・改築を実施するため、ストックマネジメント計画を策定し、管渠の劣化状況を把握するため管渠内カメラ調査を実施した。</li> <li>損傷が判明した管渠について更生工事を実施した。</li> </ul>
<b>合併処理浄化槽整備事業【市民生活課】</b> 合併処理浄化槽設置補助	衛生班長会議での説明、広報おちやへの掲載など、合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を実施し、3基補助した。	住宅の取り壊しに伴い、合併処理浄化槽の数は減少している。補助事業の周知啓発により、設置の普及が図られた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
公共下水道の水洗化率	%	92.1	93.8	94.1	94.5	94.6	95.2	94.0	101.3	ガス水道局
農業集落排水の水洗化率	%	96.9	97.2	97.4	97.5	97.4	97.4	97.9	99.5	ガス水道局
合併処理浄化槽の計画設置基数	基	328	343	341	333	332	314	348	90.2	市民生活課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【ガス水道局】</b> ・R元年度、農業集落排水処理区(岩沢・上片貝)における施設の長寿命化及び維持管理費の節減を図るため、施設の機能診断調査を実施し、施設機能を保全するために必要な対策方法を定めた最適整備構想を策定した。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【市民生活課】</b> ・住宅の取り壊しや公共下水道接続により、合併処理浄化槽の設置を必要とする住宅が減少している。 <b>【ガス水道局】</b> ・農業集落排水の水洗化率が下落したのは、水洗化済の住宅が空き家になったこと等によるもの。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	42
総合計画ページ	P. 109		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	1	都市計画の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観に配慮した都市計画事業の実施</li> <li>■ 都市計画道路の整備</li> <li>■ 用途地域の見直しの検討</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>都市計画道路整備事業【建設課】</b> 本町小栗田線の整備促進、木津小千谷停車場線等の整備	本町小栗田線(県事業)、木津小千谷停車場線、東栄元中子線の道路整備の実施	・国交付金の配分率の低さによる事業期間の延長を余儀なくされたが、近年は計画どおり進捗した。R3年度より、木津小千谷停車場線の第2工区工事に着手する。
<b>都市計画道路の検証【建設課】</b> 交通量調査などによる長期未着手区間における整備の必要性の検証	R2実施なし	H30年度検証済み。今後は計画道路の着手時期について検討を行う。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【建設課】</b> ・都市計画道路の整備 ・西小千谷環状線(千谷バイパス)(県事業) H28事業完了      ・本町小栗田線(県事業) H27事業着手、整備中 ・木津小千谷停車場線 H25事業着手、R2第1工区工事完了      ・東栄元中子線 H25事業着手、整備中 ・都市計画(用途地域等)を踏まえた長期未着手都市計画道路の検証(H25～H30年度)
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【建設課】</b> ・都市計画道路の整備 国交付金の配分率の低さや用地交渉の難航等による事業期間の遅延
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	43
総合計画ページ	P. 110		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	2	国土調査の推進
施策の基本方針	<p>■ 計画的かつ効率的な調査の推進</p>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
事業概要 <b>国土調査事業【建設課】</b> 国土調査法に基づく地籍調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>上ノ山1、本町2、平成2、稲荷町、船岡1丁目地内の現地立会い・測量</li> <li>R元年度に現地立会い・測量をした土川1・2、上ノ山1・2丁目地内の地籍簿・地籍図作成</li> <li>H29年度境界立会い地区(上ノ山・船岡町ほか)の登記事務完了</li> </ul>	比較的土地の活用・異動が多い地区の事業実施により、今後の土地の利活用において土地の調査(筆界、所有者など)の省力化・効率化が期待できる。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
*調査対象面積:147.39km <sup>2</sup>										
地籍調査進捗率(調査完了面積)	km <sup>2</sup>	36.50	37.99	38.44	38.84	39.03	39.24	39.44	99.5	建設課
地籍調査進捗率	%	24.76	25.78	26.08	26.35	26.48	26.62	26.76	99.5	建設課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【建設課】</b> ・比較的土地の活用・異動が多い地区の事業実施により、今後の土地の利活用において土地の調査(筆界、所有者など)の省力化・効率化が期待できる。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【建設課】</b> ・地積の小さい筆の多い市街地区の調査のため、作業量に比べて進捗率の伸びが小さい。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	44
総合計画ページ	P. 112		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	1	防災体制の強化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防災意識の啓発</li> <li>■ 防災拠点施設の整備</li> <li>■ 災害時における生活用水の確保</li> <li>■ 災害支援ネットワークの拡充・強化</li> <li>■ 自主防災組織の強化・支援</li> <li>■ ハザードマップの作成・見直し</li> <li>■ 広域避難計画の実効性の向上</li> <li>■ 原子力防災知識の向上</li> <li>■ 耐震改修の促進</li> <li>■ 各種計画の見直し</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>防災公園整備事業(再掲)【危機管理課】</b> 防災公園の整備	仮設住宅建設用地を有する防災公園の面的な整備はほぼ完了した。(再掲)	H24年度から継続していた公園整備は、面的な整備が進捗し(R3年度からの供用開始により)、避難場所や仮設住宅建設用地の確保により、地域防災力の向上に繋がった。(再掲)
<b>防災行政無線更新事業【危機管理課】</b> 防災行政無線設備のデジタル化	デジタル移動系防災行政無線設備の購入(基地局無線装置1台、遠隔通話装置3台、携帯型無線装置29台等)	デジタル化により通信の向上が図られ、クリアな音声による受伝達が可能となり、またJアラートなどの関係機器との接続により、国からの災害情報の直接受信も可能となった。
<b>防災訓練実施事業【危機管理課】</b> 総合防災訓練・地区別防災訓練・原子力防災訓練の実施	原子力防災を含めた、自助・共助における災害初動体制の強化を目的とした地区別防災訓練を実施(川井地区)。約250名の参加。	これまでの災害対応における関係機関の連携確認を主とした訓練に、原子力災害も含めた災害全般に関する知識の普及啓発、家庭や地域コミュニティを対象とした防災力の強化を目的とした内容を加えて実施した。今後も、災害初動時における地域防災力向上を図っていく。
<b>原子力災害における広域避難計画の見直し【危機管理課】</b> 国や県、関係市町村と広域的な避難体制の整備を図り、より実効性のある広域避難計画への見直し	国が作成を進めている「緊急時対応」に合わせて、より実効性を高めるために、安定ヨウ素剤の緊急配布場所や自家用車での避難ができない方の一時集合場所、スクリーニングポイントの設定場所などの検討、見直しを行った。	R元年3月に新潟県による原子力災害広域避難計画が策定され、当市の関係機関における避難計画の作成を支援した。国が原子力発電所の立地地域での避難計画の充実を目的として「緊急時対応」の作成を進めており、県内30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会」とともに具体的な対応の検討を行い、複合災害に備えた体制整備を進めている。
<b>木造住宅耐震診断・改修・設計等補助事業【建設課】</b> 木造住宅耐震診断費補助、耐震改修設計、工事費補助、部分補強、地震保険等加入促進事業費補助	補助事業申請数1件(耐震診断1件、耐震改修設計0件、工事費補助0件、部分補強0件、地震保険等加入促進事業補助はH29年度をもって廃止)	期間内の耐震化率は1.7%向上した。また、耐震性を満たさないもの若しくは、耐震性が不明なもの件数は、3,033件から2,829件と約7%減少している。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
緊急情報メール配信サービス登録件数	件	3,000	3,937	4,276	4,476	4,824	5,132	5,000	102.6	危機管理課
災害時協力井戸の登録件数 ※H27年度開始事業	件	-	68	73	76	76	73	300	24.3	危機管理課
戸建住宅の耐震化率	%	73.7	73.9	74.2	74.5	74.6	75.4	85.0	88.7	建設課



## (2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p><b>【危機管理課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防災公園について、工事施工中の安全確保のため、付近の関連工事とのスケジュール調整により、竣工時期がR3年度に変更となった。(防災公園・再掲)</li><li>・原子力災害において、R元年に新潟県の策定した広域避難計画は完成形ではなく、スクリーニングポイントや安定ヨウ素剤の配付など避難にかかる具体的な部分が決まっていないため、国の検討する緊急事態対応での検討内容や、訓練で明らかになった課題を避難計画に反映し広域避難計画の充実に取り組むこととしている。市では、新潟県の広域避難計画に具体的内容が反映された後に、市の広域避難計画に反映させることとした。(広域避難計画の見直し)</li><li>・災害時協力井戸の登録件数について、当初は各町内会で管理する消雪パイプ井戸の登録を見込んでいたが、消雪ノズル以外に水の取り出せる蛇口等が設置が無いなどの理由から登録に至らず目標値に達成していない。</li></ul> <p><b>【建設課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般木造住宅耐震化事業について、旧耐震建築物の所有者の多くが高齢者であり、耐震化への意欲の低下や資金面が要因と考えられる。</li></ul>
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	45
総合計画ページ	P. 114		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)	
基本方針	1	安全な市民生活の確保	
施策	2	消防・救急体制の充実	
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 消防施設・装備の充実</li> <li>■ 救急体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住宅防火対策の推進</li> <li>■ 消防団の充実</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>消防施設整備事業【消防本部】</b> 消防・救急車両の充実、消防水利施設の整備	耐震性防火水槽2基を設置し消防力の強化を図った。	消防水利の基準に基づき耐震性防火水槽を設置した結果、未設置区域の解消に向け充足率の向上が図られた。
<b>救急業務高度化推進事業【消防本部】</b> 救急救命士の養成、救急講習の推進	コロナ禍の中、感染対策に努め、各種救急講習(合計28回、633名受講)の開催を通じて、市民の救急への意識の高揚・啓発が図られた。	市民への救急講習と救命サポート事業の拡充を通して、市民による救命率の向上を構築することができた。
<b>住宅防火対策推進事業【消防本部】</b> 高齢者に対する防火指導、住宅防火モデル地区の指定	一人暮らし高齢者宅への防火訪問13件や、住宅防火モデル地区4町内を指定することにより、住民の防火意識の高揚を図った。	住宅用火災警報器の設置率は高い数値を保つことができたが、条例適合設置率は年々下降傾向となり、条例で定める設置場所のPR不足であった。
<b>消防団整備事業【消防本部】</b> 消防団組織の再編、施設の改善、消防団員の活動環境の整備	消防ポンプ車と小型動力ポンプ付積載車各1台を更新し、消防力の強化を図った。	消防団整備計画に基づいた車両更新の結果、機動力の確保と迅速な消火活動が可能となり、消防力を強化することができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
火災出火率/1万人	件	3.43	3.66	2.46	2.82	4.26	4.37	2.37	-	消防本部
出火件数	件	13	19	9	10	15	15	9	-	消防本部
死傷者数	人	2	4	4	0	4	1	0	-	消防本部
死傷者数(死者数)	人	0	3	1	0	0	1	0	-	消防本部
住宅用火災警報器設置率	%	97	88	85	88	87	91	100	91.0	消防本部
住宅用火災警報器設置率(条例適合設置率)	%	81	72	73	70	65	64	97	66.0	消防本部

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【消防本部】</p> <p>・消防団員を雇用している事業所に対し、消防団員の活動への理解と協力をお願いし「消防団員協力事業所」として、認定事業を推進しているが、R2年度に1事業所が、総務省消防庁より消防団活動に貢献している功績が認められ「事業所表彰」を受賞した。</p>
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【消防本部】</p> <p>・住宅防火対策推進事業:住宅用火災警報器の条例適合設置率が低迷する要因について、日本防火・防災協会の調査の結果によれば①設置の義務化を知らない。②費用がかかる。③罰則がない。などの理由が上位に挙がっており、条例制定から10年以上が経過したことにより、設置と維持管理に対する市民意識の低下が考えられる。</p> <p>・消防団整備事業:消防団員の確保に努めているが、実員数の減少に歯止めがかからない状態である。その要因として若者の市外への転勤や中山間地の居住区からの転出などが挙げられ、各地域において入団可能な人材が減少している。</p>
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	46
総合計画ページ	P. 117		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	3	交通安全と防犯の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通安全の推進</li> <li>■ 交通安全施設の充実</li> <li>■ 防犯の推進</li> <li>■ 消費者行政の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>交通安全推進事業【市民生活課】</b> 交通安全教室の実施、交通安全運動の実施等啓発活動	園児・児童等を対象とした教室や季節ごとの交通安全運動を実施したほか、「市民のための交通安全教室」では新たにサポカー体験を実施するなどして、交通安全の推進を図った。	各種交通安全教室や季節ごとの交通安全運動等を実施したことで、交通事故発生件数・死傷者数の減少に繋がった。
<b>交通安全施設整備事業【市民生活課】</b> カーブミラー資材支給、道路区画線整備、防護柵設置・修繕	計13箇所のカーブミラー資材支給を行い、交通事故防止に努めた。	交通安全協会等関連機関と連携し、カーブミラー資材支給等を行うことで、危険箇所の整備を推し進めた。
<b>防犯対策事業【市民生活課】</b> 防犯灯設置・防犯活動に対する補助、犯罪被害防止のための啓発活動	小千谷市防犯協会への補助により、防犯灯を204灯LED化したほか、市内全11団体の地区防犯連絡協議会に防犯活動のための補助を実施した。通話録音装置を新規に2世帯に貸与した。	防犯灯設置・防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施し、犯罪被害の防止のための啓発を進めた。
<b>消費者行政事業【市民生活課】</b> 消費生活相談・無料法律相談の開設、消費生活被害防止のための啓発活動	100件の消費生活相談に対応。主に高齢者を対象とした啓発講座を12回開催。市内高校生や新成人を対象に啓発冊子を配布。	消費生活相談窓口の周知を進めたことにより、相談件数が増加した。また、講座などの啓発活動を継続して行っており、消費者被害防止に効果を上げている。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
交通事故発生件数	件	93	95	50	71	54	46	70	-	市民生活課
交通事故による死傷者数(死者)	人	2	3	1	2	3	2	0	-	市民生活課
交通事故による死傷者数(傷者)	人	117	109	56	79	62	59	85	-	市民生活課
交通安全教室実施回数	回	52	53	53	54	51	23	60	38.3	市民生活課
交通安全教室参加人数	人	3,693	3,742	3,479	3,527	3,398	1,202	4,000	30.1	市民生活課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【市民生活課】</b> ・新潟県交通災害共済の積極的な周知を実施し、加入促進を図った。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【市民生活課】</b> ・新型コロナウイルス感染防止のため、交通安全教室や交通安全運動の中止・規模縮小が余儀なくされた。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	47
総合計画ページ	P. 119		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	1	自然環境との共生
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然や生態系の保全</li> <li>■ 快適な生活環境の保全と創造</li> <li>■ 環境に関する調査・監視の実施</li> <li>■ 地球環境問題への取り組み</li> <li>■ 省エネルギーの推進及び新エネルギーの導入促進</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>環境啓発事業【市民生活課】</b> 環境基本計画の年次報告作成と公開、環境意識の啓発	年次報告書「小千谷市の環境」を作成・公表した。また、環境の変化に対応するため、環境基本計画の見直しを行った。	環境基本計画に基づき関係課による啓発等の事業を進めた。また、計画見直しにより、脱炭素化に向けた取組を推進することとした。
<b>省エネルギー導入推進事業【市民生活課】</b> 省エネルギー化に向けて、再生可能エネルギー導入を調査検討	錦鯉関連施設(養鯉場、錦鯉の里)での再生可能エネルギー導入可能性調査を実施した。	「小千谷市エネルギービジョン」の策定や導入可能性調査の実施により、錦鯉の里への再生可能エネルギーの導入を決定した。
<b>環境うるおい基金事業【企画政策課】</b> 環境うるおい基金を活用した事業実施	市民生活と環境との調和を図るため環境保全対策事業などを実施した。	信濃川の河川環境の維持向上等、環境との調和を図るために必要な事業を実施することができた。
<b>環境うるおい基金事業【市民生活課】</b> 信濃川の河川環境の維持向上等、環境との調和を図るために必要な事業の実施	河川水等の水質検査、自動車騒音測定、地下水位観測等を実施し、現状把握と公害発生の監視を行った。	大気汚染、水質汚濁、騒音などの検査等により監視を強化し、環境の保全に繋がった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【市民生活課】</b> ・「おちやエネルギー通信」を発行し、市民・事業者に対して再生可能エネルギーの取組状況や先進事例などを周知し、意識啓発を行った。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	48
総合計画ページ	P. 121		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	2	資源リサイクルの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ごみの減量化・再資源化の推進</li> <li>■ 不法投棄対策の推進</li> <li>■ 既存施設の長寿命化</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>ごみ減量化・再資源化事業【市民生活課】</b>  資源物集団回収への助成、3R運動、古着・靴・鞆等の回収、おちやのごっつお食べ切り運動、生ごみ処理機器購入費補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物集団回収で古紙類374t、金属類3tの計377tを回収した。</li> <li>・3R運動については、ごみそのものを減らすため様々な媒体で取組を周知している。</li> <li>・古着・靴・鞆等の回収はコロナ禍で中止とした。</li> <li>・おちやのごっつお食べ切り運動は鮮魚会席組合と旅館組合にポスター掲示とPRをお願いした。</li> <li>・生ごみ処理機購入費補助については、堆肥化容器10台、電動生ごみ処理機8台に対して補助を行った。</li> </ul>	ごみ減量化や再資源化事業に積極的に取り組み、計画期間において、ごみ排出量の減量に繋げることができた。
<b>環境衛生向上事業【市民生活課】</b>  ごみ収集場所整備補助、不法投棄監視、ごみゼロ運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集場所10か所に対して補助を行った。</li> <li>・不法投棄巡回調査実施のほか、県・衛生班長連絡協議会と連携して不法投棄回収事業を実施した。</li> <li>・コロナ禍で一斉清掃は中止としたが、例年一斉清掃日としている4・5月の最終日曜日に実施した団体が多くあり、4,610人の参加があった。また、その日以外(4～11月まで)にも4,068人の参加があり、年間で合計8,678人の参加があった。</li> </ul>	環境衛生向上のためには市民への意識啓発が必要不可欠であるため、様々な手法で周知を図り意識啓発に努め、市内の環境美化に繋げることができた。
<b>一般廃棄物処理施設長寿命化事業【市民生活課】</b>  焼却処理施設維持修繕、不燃ごみ処理施設維持修繕、し尿処理施設維持修繕、焼却灰等最終処分委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、焼却処理施設及び不燃ごみ処理施設の計画的な維持修繕を実施した。</li> <li>・し尿処理施設維持修繕についてはH24年3月に策定した長寿命化計画に基づき維持修繕を行っている。</li> <li>・焼却灰、不燃残渣については、全量を県外の最終処分場に委託搬出している。</li> </ul>	各処理施設の設備の営繕に努め、概ね良好な状態を維持することができ、広域処理に頼ることなく処理することができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標（前期基本計画に掲げた目標値）

評価指標		単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課	
ごみ 排出量	燃やすごみ	t	10,907	11,055	11,107	10,881	11,055	10,804	9,225	-	市民生活課	
	埋め立てごみ	t	782	749	775	805	895	892	661	-	市民生活課	
	資源ごみ	t	2,644	2,642	2,403	2,286	2,149	2,023	2,711	-	市民生活課	
	計	t	14,333	14,446	14,285	13,972	14,099	13,719	12,597	-	市民生活課	
資源物 集団 回収量	古紙類	新聞	t	250	233	213	211	170	117	278	42.1	市民生活課
		雑誌・チラシ	t	363	345	310	284	245	176	404	43.6	市民生活課
		ダンボール	t	128	126	116	114	98	81	142	57.0	市民生活課
		牛乳パック	t	1	1	1	1	1	0	1	0.0	市民生活課
		計	t	742	705	640	610	514	374	1,116	33.5	市民生活課
	金属類	アルミ	t	4	4	3	3	2	2	4	50.0	市民生活課
		スチール	t	3	2	1	1	1	1	3	33.3	市民生活課
計	t	749	711	644	614	517	377	1,252	30.1	市民生活課		
古紙 分別 回収量	新聞	t	176	151	139	129	119	139	194	71.6	市民生活課	
	雑誌・チラシ	t	364	305	268	255	237	242	400	60.5	市民生活課	
	ダンボール	t	136	129	118	117	115	127	150	84.7	市民生活課	
	計	t	676	585	525	501	471	508	941	54.0	市民生活課	
一人1日あたり排出量		g	1,048	1,076	1,087	1,078	1,107	1,095	967	-	市民生活課	
リサイクル率		%	20.8	20.0	19.7	19.5	18.7	17.3	22.0	78.6	市民生活課	

## (2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【市民生活課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ排出量はH26年度と比べ減少したが、一人1日あたりの排出量は増加しているため、ごみ減量に向けた更なる啓発と、啓発に繋がる新たな仕組み作りが必要である。</li> <li>・廃棄物処理施設は経年劣化が進み毎年突発的な修繕が多く発生していることから、劣化状況の把握が必要である。特に時水清掃工場はここ数年予期せぬ故障が多発しているため、R2年度に実施した機密機能検査の結果等を踏まえ、早期に整備方針を決定する必要がある。</li> </ul>
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	49
総合計画ページ	P. 123		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	1	冬期間交通の確保
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機械除雪体制の見直し</li> <li>■ 歩行者空間の確保</li> <li>■ 消雪パイプの整備</li> <li>■ 流雪溝の整備</li> <li>■ 雪崩危険箇所における対策</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>道路除雪排雪場所除雪対策事業【建設課】</b> 排雪場所の消雪促進事業に対する補助	少雪であったため申請0件	少雪で申請のない年もあったが、積雪の多い町内の除雪費用を一部軽減することができた。
<b>未認定道路除雪対策事業【建設課】</b> 未認定道路における消雪パイプの電気料や除雪作業に対する補助	道路除雪3件 404千円 電気料20件 327千円	地域によっては、世帯数の減少や高齢化が進んでいるため、負担の軽減(補助率増)について検討する必要がある。
<b>除雪機械購入【建設課】</b> ロータリー除雪車などの購入	R2年度購入なし	H29年度に小形ロータリー除雪車(歩道除雪用)を1台増強。
<b>消雪パイプ整備事業【建設課】</b> 消雪パイプ布設	新規布設:530.7m 18,798千円	井戸があり、水量の確保ができていた平沢町1号線、岩沢環状線、桜町区画1号線等に消雪パイプの布設ができた。
<b>消雪パイプリフレッシュ事業【建設課】</b> 幹線道路などの消雪パイプ布設替	布設替:931.5m 69,047千円	千谷川平沢線、本町山本線等で消雪パイプリフレッシュ事業を実施。
<b>融雪施設整備助成事業【建設課】</b> 消雪パイプの電気料や消雪用井戸の更新などに対する補助	電気料:333件 17,420千円 井戸更新など:6件 3,210千円	井戸の設置から年数が経っており掘り返しが増えてきている。予算内でできるだけ消雪組合の要望に応えることができた。
<b>流雪溝整備事業【建設課】</b> 流雪溝新設・改良、取水障害対策などの検討	シーズン前に各揚水機場の浚渫を行っている。	流雪溝揚水のポンプの経年劣化が進んでいる。県とも問題を共有し、引続きポンプの修繕や取替え等について協議したい。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
機械除雪区間道路延長(国・県道)	km	157.9	157.9	157.9	149.8	149.8	147.9	-	-	建設課
機械除雪区間道路延長(市道)	km	145.1	144.2	143.9	143.1	142.6	142.9	146.3	97.7	建設課
消雪パイプ布設延長(国・県道)	km	37.2	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	-	-	建設課
消雪パイプ布設延長(市道)	km	110.4	113.9	115.0	116.0	116.6	117.1	112.0	104.6	建設課
流雪溝整備延長(国・県道)	km	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3	-	-	建設課
流雪溝整備延長(市道)	km	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	56.1	100.0	建設課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【建設課】

- ・雪崩の危険性がある路線は随時パトロールを実施している。

(3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

【建設課】

- ・「機械除雪区間道路延長（市道）」が目標値を達成していない理由は、消雪パイプを布設することにより機械除雪区間が減少するため。



【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	50
総合計画ページ	P. 125		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	2	雪国生活の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 克雪住宅の普及促進</li> <li>■ 除雪支援事業の推進</li> <li>■ 宅地内の排雪対策の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>克雪すまいづくり支援事業【建設課】</b> 融雪型、落雪型などの住宅屋根の整備に対する補助	補助申請件数25件 (落雪式2件、耐雪式14件、融雪式9件)	新築戸建住宅件数538件に対して、克雪すまいづくり支援事業の対象となる件数は204件
<b>雪おろし支援事業【建設課】</b> 屋根の雪おろし支援事業(SOS雪おろし)に対する補助	マッチング実績218件 ※雪おろしが困難な世帯を対象に支援を行うもので、雪おろし希望者と作業会員のマッチングをするもの。最終的な登録数は希望者234名、作業員64名となった。	マッチングは順調に行われた。年々雪おろし希望者が増加しているが、作業会員は減少傾向にある。
<b>高齢者対応型投雪口設置事業【建設課】</b> 観音開き型の投雪口の設置	設置基準に基づき11か所を設置	設置基準に基づき129か所を設置 (H28:30か所、H29:31か所、H30:25か所、R1:32か所、R2:11か所)
<b>除雪援助事業【福祉課】</b> 低所得の母子家庭、障がい者世帯への除雪サービス券の交付	社会福祉協議会での実施事業となる。 R2年度:障がい者世帯への除雪援助 対象世帯 14世帯 24件 ※母子世帯への援助 0件	民生委員からの協力を得て、必要世帯への援助を行い、冬期間の安全確保が図れた。
<b>除雪援助事業【福祉課】</b> 低所得の高齢者世帯への除雪サービス券の交付	自力で除雪が困難な高齢者世帯の除雪経費の一部を補助(該当世帯数340世帯、実施世帯数303世帯、延612回)	民生委員からの協力を得て、必要世帯への援助を行い、冬期間の安全確保が図れた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
*1戸建住宅数:10,089戸										
克雪住宅普及率(補助金交付件数)	件	2,592	2,665	2,696	2,739	2,771	2,796	3,100	90.2	建設課
克雪住宅普及率	%	25.7	26.3	26.2	26.3	26.4	26.3	30.7	85.7	建設課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【建設課】</b> ・克雪すまいづくり支援事業 暖冬少雪傾向である近年の気象状況により、克雪住宅化に対する意識の低下が考えられる。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	51
総合計画ページ	P. 126		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	3	雪資源の活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業化の取り組みに対する支援</li> <li>■ 雪冷熱エネルギーの研究と検討</li> <li>■ 雪を活かしたイベントや交流事業によるPR</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>国内・海外販路開拓支援事業(再掲) 【商工振興課】</b>  新技術・新製品のPR、販路拡大を目的とする展示会・見本市の出展を支援(雪資源を含む)	R2年度における実施件数7件 (うち雪資源活用事例は0件)	支援事業の活用件数は例年多くあるが、雪資源の活用に関する出展は無い状況にあることから、今後一層の雪資源に関する活用促進の周知に努める必要がある。 H29:改良1件、H30:開発1件・改良1件、R1:開発1件・改良3件、R2:改良6件(うち雪資源活用事例は0件)
<b>おちや風船一揆【観光交流課】</b>  国内有数の熱気球大会を中心とした早春のイベント	第45回大会は、コロナ禍で開催できる内容を検討し、熱気球大会のみ無観客オンライン配信での開催準備を進めたが、感染拡大防止の観点からすべてのイベントが中止となった。	本州唯一の雪上熱気球大会としてPR効果は非常に高く、H30は来場者数4万人を超えた。しかし積雪量や当日の天候に大きく左右されることから、年度毎に来場者数の開きがある。開催時期や会場確保、荒天時におけるイベント内容について、引き続き検討が必要である。
<b>おちや☆うき☆しゃっこいまつり【建設課】</b>  真夏に雪を楽しみ、利雪・遊雪・克雪をPRするイベント	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おちやまつりの中止にあわせ中止とした。	おちやまつりにおける主要なイベントとなり、多くの来場者があり賑わいの創出につながっていると同時に、雪を資源として活用する「利雪・親雪・遊雪」という意識の定着が図られている。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
おちや風船一揆来場者数	人	26,600	23,700	27,000	43,000	11,000	0	28,000	0.0	観光交流課
おちや☆うき☆しゃっこいまつり来場者数	人	15,000	14,000	14,000	14,000	15,000	0	16,000	0.0	建設課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【商工振興課】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内・海外販路開拓支援事業:実施件数7件(うち雪資源活用事例は0件)</li> <li>・地場産品開発支援事業:実施件数6件(うち雪資源活用事例は0件)</li> <li>・ブラッシュアップ相談会:相談件数8件(うち雪資源活用事例は0件)</li> </ul> <b>【観光交流課】</b> ・首都圏や交流自治体で開催されるイベント等へ雪を搬入しPRを行っていたが、R2年度はコロナ禍によりイベント中止や移動制限等により実施できなかった。(参考:H28、H29杉並区ほたるまつり、H30南相馬市道の駅、R1埼玉県越谷市レイクタウン) <b>【市民生活課】</b> ・今後建設予定の図書館等複合施設の検討に当たり、雪冷熱エネルギーを含めた再生可能エネルギーの導入効果の試算を行った。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・「おちや風船一揆」は、コロナウイルスの影響により中止。過去にH28年度・R元年度(2日目中止)は、少雪によりイベント会場の変更が生じるなど、気象条件にも大きく左右される。 <b>【建設課】</b> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となったが、会場選定が毎年の課題であるとともに、マンネリ化を防ぐ必要がある。
--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	52
総合計画ページ	P. 130		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	1	移住・定住人口の拡大
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移住に向けた魅力の発信と交流の促進</li> <li>■ 移住のための相談・支援体制の充実</li> <li>■ 定住に向けた環境整備</li> <li>■ U・Iターンの推進</li> <li>■ 「地域おこし協力隊」制度の活用</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>小千谷移住PR事業【観光交流課】</b> 移住定住ポータルサイトの運営、情報発信	移住ポータルサイト「おぢやにススム」を市ホームページに統合して自主運用。	閲覧数の停滞から費用対効果を考え、市ホームページのサブサイトとして運用。迅速な情報発信に繋がった。
<b>移住定住相談会開催事業【観光交流課】</b> 関係団体等と連携した各種相談会の開催	移住サポーター3名委嘱、相談数0件 オンラインでの移住定住相談会参加5回	首都圏での相談会は地域おこし協力隊の獲得に繋がることもあり、効果が見られたが、オンライン相談会ではいずれも相談者0人と効果は薄い。
<b>空き家等対策事業(再掲)【観光交流課】</b> 利用可能な空き家の登録及び情報の充実	空き家バンク新規登録物件:2件 空き家バンク登録物件の売買等成立:1件	空き家調査を行うなど、広く情報発信に努め、登録促進を図った結果、目標値を超える登録数となった。
<b>定住促進事業(再掲)【建設課】</b> 転入者、若者への住宅取得補助、転入者安住化への家賃補助	・転入者、子育て世代への住宅取得補助金:申請数78件 ・転入者定住化への家賃補助金は令和元年度申請分をもって事業終了	・住宅取得補助申請者数は堅調に推移し、定住者の確保に繋がっている。 ・家賃補助については、住宅を取得した件数は補助件数601件に対して51件と割合で10%に満たなかった。
<b>地域おこし協力隊推進事業【観光交流課】</b> 定住促進と地域活性化に向けた地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊退任後の定住率:73%(R2年度末11人/15人)【参考】全国平均:63%	支援員配置による受入・相談態勢を整備した結果、全国平均と比較して高い定住率を実現することができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
移住定住ポータルサイト閲覧件数/月 (H27年8月25日開設)	件	-	7,252	10,705	1,275	206	320	1,000	32.0	観光交流課
空き家情報バンク登録件数(累計)	件	3	11	15	23	30	32	20	160.0	観光交流課
転入者住宅取得補助件数/年(再掲)	件	12	20	17	22	24	23	15	153.3	建設課
地域おこし協力隊受け入れ人数(延べ人数)	人	7	10	14	16	18	21	23	91.3	観光交流課
地域おこし協力隊定住人数(延べ人数)	人	-	2	6	6	9	11	16	68.8	観光交流課

(2)その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

【商工振興課】

- ・企業見学バスツアー開催:2回
- ・オンライン就職ガイダンス開催:4回(うち高校生対象1回)
- ・企業向け就活対応セミナー開催:3回
- ・長岡定住自立圏事業:3回(インターンシップガイダンス・就職ガイダンス・高校生対象の企業研究フェス)
- ・就労支援アプリの運用及び企業ガイドブックの配布

(3)計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

【観光交流課】

- ・地域おこし協力隊推進事業

受け入れ人数の目標未達とそれに伴う定住人数の目標未達。  
事業内容を周知し各地域等の導入ニーズを高めていくことが必要。

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	53
総合計画ページ	P. 132		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	2	都市間・地域間交流の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様な交流や体験機会の提供</li> <li>■ 交流を活かした地域振興の推進</li> <li>■ 新たな交流拠点の整備</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>農村都市共生事業【観光交流課】</b> 教育体験型交流やグリーンツーリズムによる都市との交流推進	首都圏の中学校の農泊受入を実施していたが、新型コロナウイルスの影響により、事業が一律中止になった。	主に農泊を中心とし、交流人口増加に努めてきた。今後は農泊以外の受入方法についても模索し、更なる交流人口拡大を目指す。
<b>農家民宿開業支援事業【観光交流課】</b> 農家民宿の開業支援によるグリーンツーリズム等の受け入れ態勢の充実	受入家庭募集チラシの全戸配布等を実施。また、感染症対策備品の購入や受入予定であった学校にお米を送るなどR3年度以降の受入対策を行った。	高齢化により受入家庭が減少しているが、受入家庭募集チラシを全戸配布するなどの取組により、新規受入家庭を獲得することができた。
<b>おぢやクラインガルテンふれあいの里管理運営業務【観光交流課】</b> 農業を通じた田舎暮らし体験や都市住民との交流拠点施設の管理運営	農園や施設の維持管理を行いながら、感染症拡大防止のため、交流イベントの変更・中止や農園利用者以外の利用制限などで対策を取った。	一時は空き区画が目立っていたが、情報発信や見学者の対応に努め、R2年度には目標値を達成できた。
<b>山本山整備業務【観光交流課】</b> 景観事業山本山の整備を通じた交流拠点の形成	おぢゃ〜る、クラインガルテン、山頂休憩所の維持管理を通じて交流拠点の維持を行った。山頂休憩所のカフェ利用試行によりニーズ把握を行った。	おぢゃ〜るの整備などが進み、山本山全体の利用者増の取組につながった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
学童等体験活動受け入れ人数(延べ人数)	人	8,902	9,078	8,333	8,453	9,846	0	10,000	0.0	観光交流課
教育体験旅行受け入れ家庭会員数	世帯	92	62	62	64	59	74	100	74.0	観光交流課
おぢやクラインガルテンふれあいの里滞在型農園の利用区画数(全30区画)	区画	30	29	28	25	22	30	30	100.0	観光交流課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【観光交流課】</b> ・新潟県グリーン・ツーリズム推進協議会と共催する「全体交流会in小千谷」が、新型コロナウイルス感染症を防止するため、R3年に延期となった。また、新規学校を受入れるため、商談会に出席した。
---

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・新型コロナウイルス感染症を防止するため、緊急事態宣言が出されている首都圏の学校の受入が一切実施できなかった。
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	54
総合計画ページ	P. 134		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	3	国際交流の促進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国際交流による人づくり</li> <li>■ 国際交流団体との連携強化</li> <li>■ 在住外国人への支援</li> <li>■ 海外留学生への支援</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>国際交流推進事業【観光交流課】</b> 国際親善交流事業の支援、海外研修事業の支援	R2実施なし	アウトドア・パーティーなどの国際交流イベントにより、市民と在住外国人との交流が多く成され、交流機会の拡大がみられた。
<b>国際交流環境整備事業【観光交流課】</b> 外国語の生活情報提供、外国語パンフレットの設置、外国人のための日本語教室の開催	英語や中国語などに対応した日本語教室の実施、通訳の派遣など語学ボランティアの整備。	日本語教室により、日常生活に必要な日本語を学んでもらい、在住外国人への支援に繋がった。
<b>海外留学生受け入れ支援事業【観光交流課】</b> 海外留学生受け入れ団体への支援	R2実施なし	海外留学生を受け入れることにより、当市を知ってもらおうと共に、留学生たちの言葉で市の魅力を発信してもらえる両得の関係となった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【観光交流課】</b> ・米領バージン諸島ホストタウン推進事業
---------------------------------------

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国際交流イベントの中止や海外渡航の制限が余儀なくされた。
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	55
総合計画ページ	P. 136		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	1	市民協働のまちづくりの推進
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広報・広聴活動の充実</li> <li>■ 人材育成の推進</li> <li>■ 地域活動団体等のネットワークの推進</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
市政懇談会の開催【企画政策課】 施策の説明と市民ニーズの積極的な把握	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	H28:338人(14地区)H29:331人(14地区) H30:307人(14地区)R元:152人(3地区) 参加者数の増加を図るため、R元年度から、年間3地区程度、4年間で市内全地区で開催することに変更。併せて、町内会以外の団体からの希望に応じて懇談会を開催することとし、広聴の充実を図った。
地域情報番組放送事業【観光交流課】 FMラジオ番組放送による地域情報の発信	毎週金曜日12:00～12:55に地域情報番組を放送した。 番組とタイアップし、当市の新たなPRコンテンツとして「小千谷こい唄」とプロモーションビデオを制作した。	ラジオ放送では、主に県内リスナーに向けて、当市の情報をタイムリーに提供することができた。 プロモーションビデオでは、R2年10月22日にYouTubeに公開し、R2年度末時点の再生回数が41,000回超となり、当市を広くPRすることができた。
まちづくり人材育成事業【観光交流課】 まちづくり講演会、講座などの開催	R実施なし	大規模な講演会等は実施せず、地域ごとの課題に対するアドバイザー派遣などの事業を実施した。
おちやを支える次世代人材育成事業(再掲) 【生涯学習課】 次世代を担う人材の育成、市民協働等の推進づくり(団体育成)	R2特になし	高校生対象、成人対象の講演会・ワークショップをそれぞれ複数回実施し、地域の担い手の育成・意識づけを行った。
NPO法人設立支援事業【観光交流課】 NPO法人設立の相談及び支援	新たに1法人が設立し、2法人が解散となり、現在は11法人として活動中。	法人の相談・支援を行う共に活動停止中の団体に対して解散を促すことにより、継続した活発な活動を市内NPO法人は多様な分野で行っている。
市民協働センター設置支援事業【観光交流課】 地域活性化団体等の拠点化及びネットワーク構築、NPO活動・都市交流等の支援	地域づくり支援団体「こしやる」の活動補助を実施した。	中間支援組織の活動支援の実施、市民協働の意識醸成の実施を行った。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
NPO法人数	団体	8	10	10	11	12	11	12	91.7	観光交流課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・中間支援組織の活動支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、市民活動そのものが停滞する事態となった。
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	56
総合計画ページ	P. 138		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	2	地域力を活かした市民活動の推進
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会組織の支援</li> <li>■ 地域活動の支援</li> </ul>	

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>町内集会施設等整備事業【観光交流課】</b>  町内集会施設等の整備補助	集会施設新築に対する補助:1件 維持修繕に対する補助:9件	のべ37か所の町内集会施設に対して補助を行い、その維持を支援した。
<b>まちづくり活動支援事業【観光交流課】</b>  NPO法人や市民団体などが行う地域のまちづくり活動支援、地域資源の再発見・活用・アピール活動支援	1団体に対してまちづくり活動支援補助金を交付し、活動を支援した。	まちづくり活動支援補助金により、様々な事業が実施され、地域を見直す機会となったものや継続開催につながったイベントが見受けられた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
市民活動ネットワークに登録されたまちづくり活動団体数	団体	36	31	37	55	49	25	50	50.0	観光交流課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・人口減少に伴う集会施設維持にかかる町内の負担増による管理不全が生じる恐れがある。
---



【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	57
総合計画ページ	P. 139		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	1	観光資源の整備と活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光拠点施設の整備</li> <li>■ 船岡公園の整備</li> <li>■ 牛の角突きの保存と育成</li> <li>■ 景観や歴史、文化財の活用</li> <li>■ 山本山の整備</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>観光拠点施設の整備【観光交流課】</b> 総合産業会館サンプラザ、錦鯉の里、地域間交流センターちぢみの里施設整備、錦鯉購入	各施設とも老朽化した設備等の入替を行い、安定供用に努めたが、コロナ禍で来場者数が減少。ちぢみの里では、リニューアル工事や来館キャンペーンを実施し集客に努めた。	営業努力やインバウンド対応で利用者増が見られていたが、コロナ禍でストップ。withコロナ、afterコロナを見据えた対応と計画的な施設改修が必要である。錦鯉の里再生可能エネルギー導入による視察など、既存のものに付加価値をつけることでの誘客促進策の検討も必要。
<b>牛の角突き保存・育成事業【観光交流課】</b> 角突き牛購入費・飼育費補助、闘牛場整備	5、6月場所中止、7月から11月までの5回開催。来場者数減少に伴う減収とコロナ対策に掛かる経費を支援し、継続開催に繋げた。	観覧席増設等の整備、闘牛会の組織強化と運営支援により、当市の重要な観光資源として継続開催と集客につながった。コロナ禍の影響を受けたが、新たな開催方法の工夫や情報発信の方法は今後も継続して検討する必要がある。
<b>山本山整備事業(再掲)【農林課】</b> 景観等の整備、交流拠点活用事業	山本山景観形成事業として、山本山牧草地の一部敷地約1.5haを活用して菜の花を開花させ、市内外の多くの方から足を運んでもらった。	景観整備には、一定の成果が得られた。一方で、牧草地を継続している箇所については、経費負担の課題が残る。
<b>船岡公園整備事業【観光交流課】</b> 散策路等の整備	造園業者やシルバー人材センターに整備事業を委託することにより、公園内整備、景観維持を行った。毎年行っている桜のライトアップに使用している投光器をLED照明に切り替えるなど誘客促進に努めた。	公園内の整備を専門業者に委託することにより、園内整備に努めた。一方で遊具やトイレなど老朽化している施設の改修が必要である。
<b>遊歩道等管理事業【観光交流課】</b> 散策路等の整備	各遊歩道の管理を地元団体に委託し、利用者の安全確保や景観維持に努めている。今年度はコロナ禍の影響により、利用者が増加した。	遊歩道の利用者は年々増加しており、委託により安全な維持管理を行えた。一方で関係団体の高齢化などの課題もあり、委託内容を検討する必要がある。
<b>通年型観光ルート整備事業【観光交流課】</b> 多様なニーズに応じた観光ルートの設定及び情報提供	主に教育体験旅行向けのモデルコース作成を行った。小千谷市のみで完結させるのではなく、長岡市・魚沼市の施設も含んだことにより、より魅力あるコースとなった。	モデル観光ルートを作成を進めたことにより、観光振興に努めた。旅行会社からの問合せも徐々に増加している。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
観光拠点施設の来場者数	人	241,572	220,714	289,707	276,843	270,134	154,716	250,000	61.9	観光交流課
モデル観光ルート設定数	コース	4	6	7	8	8	8	8	100.0	観光交流課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

## 【農林課】

・一部、牧草管理箇所を縮小し、景観形成作物の栽培による維持管理事業を開始したが、栽培された蕎麦畑とブルーベリー樹木の景観により、山本山全体の誘客増に繋がった。

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	58
総合計画ページ	P. 141		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	2	祭りやイベントの充実と誘客推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 祭りやイベントの充実</li> <li>■ 観光フェアへの参加</li> <li>■ 受け入れ態勢の整備</li> <li>■ 観光情報の発信</li> <li>■ 広域的な事業展開</li> <li>■ 観光関連団体等の育成</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>観光誘客促進事業【観光交流課】</b> 観光キャンペーン、観光関連団体の育成、観光情報発信、参加型の祭り、イベントの充実	コロナ禍によりイベントの開催中止が多々あったが、感染症対策を実施した観光PRイベントやオンライン商談会など新生活様式に沿った情報発信を行った。	広域連携による観光ルートの設定やモニターツアー実施による誘客、錦鯉関連でインバウンドの増加傾向も見られたが、コロナ禍で激減した。イベント(まつり)開催方法や新たな観光コンテンツの造成は、コロナ禍に関わらず検討が必要であり、観光関連団体の連携や組織作りが重要な課題である。
<b>受入体制整備事業【観光交流課】</b> 観光パンフレット作成、ホームページの充実、旅行商品の開発・販売促進	英語、簡体字、繁体字の多言語版観光パンフレットの制作を行い、インバウンドの受入体制強化に努めた。	日本語・多言語版観光パンフレットの新規作成など観光受入整備を行った。
<b>小千谷プロモーション事業【観光交流課】</b> 国内外を対象とした誘客プロモーション活動の実施	観光協会に事業を委託し、当市の観光資源や観光施設などの魅力を国内発信し誘客促進を図った。コロナ禍で海外プロモーションは実施出来なかった。	国内だけではなく、台湾での商談にも参加するなど、国内外で観光PRを行い当市への誘客につなげた。コロナ禍で厳しい状況はどの自治体も同じであり、withコロナ、afterコロナを見据えた新たな観光資源の活用を検討し準備を進める。
<b>広域観光推進事業【観光交流課】</b> 定住自立圏及び県との連携による広域観光ルート検討及び設定	県、長岡定住自立圏構成市町等と連携し、モニターツアーを開催した。圏域の観光資源を体感してもらい、旅行会社に魅力を伝えることができた。	他市町村との連携により、広域連携を進めることが出来た。観光振興については、他地域との競争に打ち勝つためにも、引き続き広域連携を進めていく必要がある。
<b>技術者養成支援事業【観光交流課】</b> 熱気球パイロットなどの資格・技術者養成を支援	新型コロナウイルスにより、最終試験に進めない状況ではあったが、個々で課題を持ってパイロット訓練を行い、技術が向上した。	訓練生3名のうち1名がパイロット受験資格の規定をクリアしているが、コロナ禍で、受験が出来ない状況。パイロット誕生とそれに続く訓練生の技術向上に取り組む。またチームとして活動するため、1名でも多くの人が必要であり、これからを担う若い候補生の確保に努める必要がある。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
観光入込客数	人	1,039,684	1,168,353	1,177,258	1,115,141	1,047,333	451,531	1,100,000	41.0	観光交流課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【観光交流課】</b> ・新型コロナウイルスの影響により、予定してたまつりや観光PRイベントが中止となった。また観光施設においても、入込数が大きく落ち込んだ。
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	59
総合計画ページ	P. 143		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	1	健全な行財政運営
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行財政の効率化と市民サービスの向上</li> <li>■ 広報・広聴機能の活用</li> <li>■ 効率的な行政組織の構築</li> <li>■ 情報公開の推進と個人情報管理の徹底</li> <li>■ 人材育成と人事評価制度の効果的な運用</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>行政改革実施計画の推進【企画政策課】</b> 行政改革大綱に基づく実施計画の策定及び推進	行財政の効率化を目的として、行政改革実施計画の11項目の取組を推進した。(下記3(2)に記載)	行政改革大綱及び実施計画を策定し、3年間のローリング方式により事業評価と見直しを行うことで、行政効率の向上が図られた(改訂年: H28、R1)
<b>新地方公会計制度の導入【企画政策課】</b> 固定資産台帳の整備、複式簿記の導入を前提とした統一的な基準による財務書類の作成	R元年度決算に基づく財務書類の作成及び公表	統一的な基準による財務書類を作成し、資産評価における最新の客観的データが追加された。
<b>公共施設等総合管理計画策定事業【企画政策課】</b> 公共施設を計画的に運営するための計画策定	個別施設計画策定済施設の追加 ※策定件数21件⇒49件(28件追加) ※策定率11.9%⇒27.7%	各種個別施設計画の策定により、将来の維持管理経費の平準化に繋がる基礎データの整理が進んだ。
<b>定員適正化計画策定事業【総務課】</b> 適切な人員管理のための計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次定員適正化計画(R3～R7)の策定</li> <li>・再任用制度を活用した人員の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には職員数を抑えることができた。</li> <li>・現業分門を中心とする業務の統廃合が進めば、将来的には職員数が今以上に減少する見込み。</li> </ul>
<b>市勢要覧発行事業【企画政策課】</b> 本市の現状や将来構想をまとめた市勢要覧の発行	R4年度発行に向けた素材収集(行事や建物等の画像)	総合計画の基本構想に沿った内容で制作し、発行間隔を5年から4年に短縮して前期基本計画期間の中間年に発行したことにより、市政の重点施策をタイムリーに広報することができた。
<b>情報システム整備事業【総務課】</b> 社会保障・税番号(マイナンバー)制度導入による情報基盤の整備	法改正により介護、児童手当の情報連携内容を修正した。マイナポータルで利用できるサービスを8事務追加した。	24事務において、マイナンバーを用いた情報連携を開始した。マイナポータルで利用できるサービスは、23事務となった。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革実施計画に基づき実施した取組</li> <li>①市政情報の発信方法の検討・実施(広報誌発行回数変更、YouTube等の市公式SNSの充実)、②市民協働の推進、③マイナンバー制度の活用、④ICT、AI等の活用(AI-OCRやRPAの導入検証、ICT活用によるオンライン申請拡充など)、⑤ガス事業の民営化検討、⑥公共施設の再配置と未利用施設の整理、⑦公共施設使用料の見直し、⑧新しい手法での歳入の確保(有料広告の拡充など)、⑨行政組織再編、⑩適正な定員管理、⑪効果的な人材育成</li> <li>・電力入札対象施設を追加したことにより経費を削減することができた。</li> </ul> <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成は、職位やその時々状況に応じた研修(コンプライアンス研修等)を実施した。</li> <li>・人事評価制度については、必要な都度見直しを行っている。評価項目の見直しには、職員の意見を取り入れ、よりあるべき姿を評価できるようにした。その後も制度の検証を適宜行っている。</li> </ul>
--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた県外研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</li> </ul>
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	60
総合計画ページ	P. 148		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	2	効果的な広域連携
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域的な連携の推進</li> <li>■ 効果的な組合運営の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>長岡地域定住自立圏【企画政策課】</b> 長岡地域定住自立圏共生ビジョンの推進	施設利用の共用化や広域観光に関する連携した情報発信等	長岡地域定住自立圏を形成する長岡市・見附市・出雲崎町とともに、施設の相互利用や救急医療体制の連携など、20事業を実施し、市民生活の利便性向上と各施策の充実を図ることができた。
<b>魚沼地区障害福祉組合運営【福祉課】</b> 魚沼地区障害者福祉組合加入による広域的な施設の設置及び管理運営	魚沼地区障害福祉組合に加入し、障害者支援施設「魚沼更生園」の設置及び管理運営に関する事務を共同で行っている。	障害者支援施設の設置及び管理運営に関する事務を共同で行うことで、効率的に実施することができた。
<b>魚沼地域特別養護老人ホーム組合運営【福祉課】</b> 魚沼地域特別養護老人ホーム組合加入による広域的な施設の設置及び管理運営	魚沼地域特別養護老人ホーム組合に加入し、「八色園」の設置及び管理運営に関する事務を共同で行っている。	特別養護老人ホームの設置及び管理運営に関する事務を共同で行うことで、効率的に実施することができた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

--

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	61
総合計画ページ		P. 149	

## 1. 前期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	3	人口減少対策
施策の基本方針		■ 少子化対策の推進 ■ U・Iターンの推進 ■ 移住・定住対策の推進

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>婚活支援事業【生涯学習課】</b> 結婚希望者への出会いの場の提供	5組のカップルが成婚した。会員との面談を通し、きめ細やかなアドバイスを行った。	毎年5組の成婚があった。会員数は増加傾向。H28年度からの5年間で50人以上が新たに入会した。
(以下、再掲)		
<b>医療費助成事業【健康未来こども課】</b> 子ども医療費助成、不妊治療費助成	引き続き、子ども医療費助成・妊産婦医療費助成を実施したが、妊産婦医療費助成は申請が0件だった。不妊治療費助成では、1治療80,000円を上限に助成し、約6割が妊娠成立した。	H30年度の妊産婦医療費助成の開始、子ども医療費助成の高校卒業年齢相当までの対象者拡充により、子どもを産み育てたい人や子育て世帯への経済的負担軽減を図ることができた。
<b>母子保健事業【健康未来こども課】</b> 妊婦健康診査・歯科検診、うぶごえ教室の開催、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、産後ケア事業	R2年度に子育て世代包括支援センターを設置。妊娠届出時にすべての妊婦に面談を行い、不安や心配事の把握と各種保健事業の情報提供を行った。産婦新生児訪問を100%実施し、産後に精神的に不安定な産婦には産科医療機関や在宅助産師と連携して継続支援を行った。	子育て世代包括支援センター設置によって、相談体制の充実、関係機関との連携強化を図ることができた。妊産婦に対して継続した支援を行い、各種保健事業の利用につなげることができた。
<b>ベビー・ファースト事業【健康未来こども課】</b> ベビー・ファースト運動の啓発、駐車場マタニティマーク設置費補助	母子健康手帳交付時にマタニティキーホルダーとマタニティエコバックを配布した。市内店舗に対してマタニティマーク設置費補助の周知を行った。	広報誌を活用したベビー・ファースト運動の啓発、妊婦へのマタニティマークの活用を促し、地域全体で子育てをしていく意識の啓発を行った。
<b>子育て支援センター事業【健康未来こども課】</b> 子育て支援センター事業の運営、子育て教室の開催、子育てなんでも相談の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用及び一部の講座やイベントを縮小・中止したが、LINEにより子育てに関する情報や親子ふれあい遊び等の動画を発信した。	子育て支援センター(現地域子育て支援拠点施設「わんパーク」)において、就園前の子どもたちを中心とした子育てに関する各種相談の実施や子育て教室等の開催により、子育て支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、LINEを活用して、子育てに関する情報や親子ふれあい遊び等の動画を発信した。
<b>ファミリー・サポート・センター事業【健康未来こども課】</b> 提供会員養成講座の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期の講座は中止した。後期の講座には21名が参加した。	会員養成講座は、R2年度の新型コロナウイルス感染症対策による1回の中止を除き、計画通り実施した。
<b>認定こども園支援事業【健康未来こども課】</b> 設置法人への施設整備費補助、運営費補助	国や県の補助金を活用し、安定的な運営を支援した。	国や県の補助金を有効活用し、私立認定こども園の安定的な運営支援を行った。
<b>保育サービスの拡充【健康未来こども課】</b> 早朝・延長保育、土曜日の延長保育、通園費補助	早朝保育(利用実人数:8園24人)、土曜日を含む延長保育(利用実人数:476人)、一時保育(預かり児童延人数422人)、通園費補助、病児病後児保育(利用児童延人数18人)を実施した。	早朝保育、土曜日を含む延長保育や一時保育、病児病後児保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。また、通園費補助により、保護者の経済的負担の軽減を図った。
<b>放課後児童健全育成事業【健康未来こども課】</b> 設置団体への運営費補助、空き教室等の活動場所の確保支援	新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により、保育が必要な児童の保育を実施した。市は設置団体へ運営補助金を交付した。	保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に対し、放課後の仲間づくりや安全な居場所の提供をする「放課後児童クラブ」の安定的な運営を支援した。また、設置数については目標である10団体を達成した。
<b>ひとり親家庭支援事業【健康未来こども課】</b> 児童扶養手当の支給、医療費助成、就労支援	受給者への手当の支給及び医療費の助成を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として臨時特別給付金の支給を速やかに行った。就労支援に関しては広報紙への掲載やパンフレットの送付など周知に努めた。	児童扶養手当及び医療費助成に関し申請漏れはないが、就労支援も含め、各種制度の対象となり得る方に必要な情報が届くよう、引き続き周知に努める必要がある。

<b>U・Iターン就職推進事業【商工振興課】</b> U・Iターン就職を希望する大学生・専門学校生などを対象とした就職セミナー、地元就職を促進する事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業見学バスツアー開催:2回</li> <li>オンライン就職ガイダンス開催:3回</li> <li>企業向け就活対応セミナー開催:3回</li> <li>長岡定住自立圏事業:2回 (インターンシップガイダンス・就職ガイダンス)</li> </ul>	若者就労支援組織「おぢや・夢・ミライ応援団」を組織し、若年層における地元就職の支援体制が構築されたことで、様々な就労支援事業を実施。引き続き若者のUターン就職を推進するべく支援が必要。 インターンシップ支援実績(H28:46件、H29:55件、H30:48件、R1:57件、R2:17件)
<b>小千谷移住PR事業【観光交流課】</b> 移住ポータルサイトの運営、情報発信	移住ポータルサイト「おぢやにススム」を市ホームページに統合して自主運用。	閲覧数の停滞から費用対効果を考え、市ホームページのサブサイトとして運用。迅速な情報発信に繋がった。
<b>移住定住相談会開催事業【観光交流課】</b> 関係団体等と連携した各種相談会の開催	移住サポーター3名委嘱、相談数0件 オンラインでの移住定住相談会参加5回	首都圏での相談会は地域おこし協力隊の獲得に繋がることもあり、効果が見られたが、オンライン相談会ではいずれも相談者0人と効果は薄い。
<b>優良宅地開発事業【建設課】</b> 優良宅地開発整備補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発協議段階で事業者への制度周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度利用条件と事業者の開発計画内容が合致せず、制度利用に至らなかった。</li> </ul>
<b>空き家等対策事業【観光交流課】</b> 利用可能な空き地の登録及び情報の充実	空き家バンク新規登録物件:2件 空き家バンク登録物件の売買等成立:1件	空き家調査を行うなど、広く情報発信に努め、登録促進を図った結果、目標値を超える登録数となった。
<b>定住促進事業【建設課】</b> 転入者、若者への住宅取得補助、転入者定住化への家賃補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>転入者、子育て世代への住宅取得補助金申請数78件。</li> <li>転入者定住化への家賃補助金はR元年度申請分をもって事業終了。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅取得補助申請者数は堅調に推移し、定住者の確保に繋がっている。</li> <li>家賃補助については、住宅を取得した件数は補助件数601件に対して51件と10%に満たなかった。</li> </ul>
<b>地域おこし協力隊推進事業【観光交流課】</b> 定住促進に向けた地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊退任後の定住率:73%(R2年度末11人/15人)【参考】全国平均:63%	支援員配置による受入・相談態勢を整備した結果、全国平均と比較して高い定住率を実現することができた。

### 3. 評価指標やその他成果等

#### (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
(掲載項目なし)										

#### (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<b>【企画政策課】</b> ・「おぢやしごと未来塾」の開催(R2参加者:市内中学生・総合支援学校中学部643人、企業44社、県内8大学) 地元就職サポート事業として、市内の中学生を対象に地元企業及び県内大学の紹介とパネルディスカッションを実施した。参加者アンケートでは、中学生の87%、教員の97%、出展企業・大学の98%が「良い」「どちらかと言えば良い」と評価している。
<b>【商工振興課】</b> ・新潟工科大学との包括連携協定締結(学生の就労支援) ・長岡地域定住自立圏における雇用促進共同事業の開催:3回 ・小千谷名匠塾支援事業(技能検定合格者数:累計176名、研修修了者数:累計948名) ・長岡地域若者サポートステーションにおける若者の相談件数:24件
<b>【生涯学習課】</b> ・初の男子向けのイベントを実施したことにより、男性会員の悩みを把握し、それに対して適切なアドバイスを行うことができた。 ・会員やイベント参加者でなく、センター以外で出会った人との恋愛相談にのり、アドバイスや後押しすることで結婚したというケースも多数ある。R2年度は10組が成婚につながった。 ・会員のデータベースを拡充したことにより、会員の希望条件に合う方を効率よく探すことができるようになった。 ・Facebookに登録し、情報を発信したことにより、本事業のPRにつながった。

#### (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【生涯学習課】</b> ・結婚はとてもプライベートな問題であり、ハラスメントととらえられない程度でのPR方法を考えていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、男女のイベント3件、女子向けのイベント1件が実施できなかった。
---

【第五次小千谷市総合計画】  
前期基本計画 進行管理シート

評価年度	R2	シートNo.	62
総合計画ページ	P. 151		

## 1. 前期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	4	男女共同参画と人権の尊重
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 男女共同参画の推進</li> <li>■ 男女共同の社会参画の活動支援</li> <li>■ 人権啓発活動の推進</li> </ul>

## 2. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】 事業概要	令和2年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	前期基本計画の総括 (取組の成果)
<b>男女共同参画推進事業【市民生活課】</b>  (仮)第4次おぢや男女共同参画プランの策定、市民啓発講演会の開催、広報活動、市民意識調査の実施	市内在住の満20歳以上の男女1,000人、市内事業所100社を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施した。 調査基準日:10月1日 有効回収率:市民55.9%、事業所65.0%	より広く市民、市内企業への男女共同参画の意識付けとなるような事業を実施した。
<b>人権教育・啓発推進計画策定事業【市民生活課】</b>  人権に関する意識調査の実施、人権教育・啓発推進計画の策定	関係課等により啓発等の事業を進めた部分もあるが、予定していた「いのち・愛・人権」小千谷展は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、市民向けの講演会も実施できなかった。	H30年度に小千谷市人権教育・啓発推進計画を策定し、計画に基づく関係課等により啓発等の事業を進めた。

## 3. 評価指標やその他成果等

## (1) 評価指標 (前期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	H26年度 (基準値)	H28年度 (実績値)	H29年度 (実績値)	H30年度 (実績値)	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R2年度 (目標値)	達成率 (%)	担当課
「ハッピー・パートナー企業」登録企業数	企業	11	11	12	12	12	12	30	40.0	市民生活課
各種審議会等委員への女性の登用率	%	21.4	20.4	21.8	20.8	24.2	24.3	35.0	69.4	総務課

## (2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

## (3) 計画どおり実施できなかった主要事業及び推進の障害となっている要因

<b>【総務課】</b> ・各種審議会等委員(事業の方針決定を伴う組織)は、あて職による委員選任が多く、そのあて職にある方は男性が占める割合が高いことが、女性の登用率の伸び悩みに繋がっている。
---